令和８年度　第３学年　社会科年間指導計画

＜歴史的分野＞　教育出版『中学社会歴史　未来をひらく』

［評価方法］（通年）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・小テスト　　・定期テスト ・資料を活用した作業の取り組み	・課題ワークシート　　・発言 ・定期テスト ・ノート（思考の記録） ・・提出物（レポート）	・発言　　・定期テスト ・ワークシートや作業の取り組み ・提出物（レポート） ・振り返りシート

指導目標	知識・技能
● 第一次世界大戦の背景とその影響，民族運動の高まりと国際協調の動き，我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に，第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと，大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解させる。 ● 経済の世界的な混乱と社会問題の発生，昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き，中国などアジア諸国との関係，欧米諸国の動き，戦時下の国民の生活などを基に，軍部の台頭から戦争までの経過と，大戦が人類全体に惨禍をもたらしたことを理解させる。 ● 経済の変化の政治への影響，戦争に向かう時期の社会や生活の変化，世界の動きと我が国との関連などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現，第二次世界大戦と人類への惨禍について近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現させる。 ● 近代の日本と世界を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。 ● 近代の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付けさせる。	○第一次世界大戦の背景とその影響，民族運動の高まりと国際協調の動き，我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に，第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと，大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。 ○経済の世界的な混乱と社会問題の発生，昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き，中国などアジア諸国との関係，欧米諸国の動き，戦時下の国民の生活などを基に，軍部の台頭から戦争までの経過と，大戦が人類全体に惨禍をもたらしたことを理解している。
	思考・判断・表現
	○経済の変化の政治への影響，戦争に向かう時期の社会や生活の変化，世界の動きと我が国との関連などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現，第二次世界大戦と人類への惨禍について近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ○近代の日本と世界を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度
	○近代の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
1	**■導入の活動　　（p.206～207）** 戦争が続いた時代の暮らしを考えよう	● 政治や社会の変化の資料から，小学校で学習した内容を振り返る。 ● 近代に関する資料から，この時代のイメージを持つ。	● 資料の読み解きや比較から，この時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。**（思判表）** ● 日本はどのようにして戦争に突入していったのかという探究課題に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。**（態度）**

1節　第一次世界大戦と日本

◆評価規準（節全体）　　＊は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	＊
● 第一次世界大戦の背景とその影響，民族運動の高まりと国際協調の動きを基に，第一次世界大戦前後の国際情勢と，大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解させる。 ● 戦争に向かう時期の社会や生活の変化，世界の動きと我が国との関連などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，第一次世界大戦前後の国際情勢について近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現させる。 ● 第一次世界大戦と日本について，そこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付けさせる。	○第一次世界大戦の背景とその影響，民族運動の高まりと国際協調の動きを基に，第一次世界大戦前後の国際情勢と，大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。 **思考・判断・表現** ○戦争に向かう時期の社会や生活の変化，世界の動きと我が国との関連などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，第一次世界大戦前後の国際情勢について近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 **主体的に学習に取り組む態度** ● 第一次世界大戦と日本について，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	C (1) ア (オ)

◆評価規準（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
2	**1　第一次世界大戦** **（p.208～209）** ヨーロッパ諸国の対立 第一次世界大戦	● 第一次世界大戦を，起こった背景，経過，被害などを通して理解する。 ● 戦争と国民生活について話し合う。	● 第一次世界大戦の背景・経過・結果から，戦争の概要を理解している。**（知技）**
3	**2　ロシア革命　　（p.210～211）** ロシア革命 シベリア出兵とソ連の成立 独裁と計画経済	● ロシア革命の背景と経過，その後のロシアの歩みについて理解する。 ● ロシア革命について，当時の状況を考え，話し合う。	● ロシア革命の背景と経過，また計画経済について概要を理解している。**（知技）** ● ロシア革命に対する日本の動きを調べ，ロシア革命の様子から自分の考えを述べている。**（思判表）**
4	**3　国際協調の高まり** **（p.212～213）** ベルサイユ条約と国際連盟 国際協調の時代 民主主義の拡大	● 国際連盟の特色を，世界平和と国際協調の面から理解する。 ● 大戦後の欧米諸国の国際関係の変化を，大戦の反省などに着目して考察し，表現する。	● 国際連盟の抱えた課題や問題点を理解し，ヨーロッパの変化を地図資料から読み取っている。**（知技）** ● 大戦後の国際協力や民主主義の動きを，大戦の規模や犠牲者の数などと関連付けて考察し，表現している。**（思判表）**
5	**4　アジアの民族運動** **（p.214～215）** 第一次世界大戦と日本 中国の反帝国主義運動 朝鮮の独立運動 インドの民族運動 探究のステップ	● アジアにおける民族運動が高まった理由について，第一次世界大戦との関係に着目して考察し，表現する。	● アジアにおける民族運動が高まった理由を，ベルサイユ条約の内容と関連付けて考察し，表現している。**（思判表）** ○第一次世界大戦の原因と世界や日　本への影響を理解している。**（知技）** ○第一次世界大戦の原因と世界や日本への影響を，国民生活への影響などと関連付けて考察し，表現している。**（思判表）** ● 第一次世界大戦と日本について，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。**（態度）**

2節　大正デモクラシーの時代

◆評価規準（節全体）　　＊は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	＊
● 我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に，第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと，大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解させる。 ● 世界の動きと我が国との関連などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現を多面的・多角的に考察し，表現させる。 ● 大正デモクラシーの時代について，そこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付けさせる。	○我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に，第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと，大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解する。	C (1) ア (オ)
	思考・判断・表現	
	○世界の動きと我が国との関連などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現を多面的・多角的に考察し，表現する。	
	主体的に学習に取り組む態度	
	● 大正デモクラシーの時代について，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	

◆評価規準（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
6	**1　大正デモクラシーと政党内閣の成立　（p.216～217）** 第一次護憲運動 大戦景気と米騒動 本格的な政党内閣の成立 大正デモクラシーの思想	● 大正デモクラシーについて，護憲運動や普通選挙の実現を通して理解する。 ● 政党内閣やデモクラシーの思想について，現代と比較しながら考察し，表現する。	● 大正デモクラシーについて，運動の概要を理解している。**（知技）** ● 大正デモクラシーの主張を現代と比較して考察し，表現している。**（思判表）**
7	**2　広がる社会運動と男子普通選挙の実現　（p.218～219）** 社会運動の広がり 差別からの解放を求めて 女性による運動 男子普通選挙の実現	● デモクラシーの高まりなどの影響を受け，多くの民衆運動が盛んになったことを理解する。	● 普通選挙の実現などについて，運動の概要を理解している。**（知技）**
8	**3　新しい文化と生活　（p.220～221）** 教育の広がり メディアの発達と文化の大衆化 新しい思想や文化 都市の生活 探究のステップ	● 大正期の教育と文化について理解する。 ● 市民生活の変化を通して，文化の大衆化などに気付く。	● 関東大震災の概要と，大正期の教育と文化の特徴を理解している。**（知技）** ● 文化の大衆化について，自分の意見や考えを述べている。**（思判表）** ○大正時代に日本で民主主義の風潮が高まった理由を理解している。**（知技）** ○大正時代に日本で民主主義の風潮が高まった理由を，明治時代からの国民への負担や国際情勢と関連付けて考察し，表現している。**（思判表）** ● 大正デモクラシーの時代について，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。**（態度）**

3節　世界恐慌と日本の中国侵略

◆評価規準（節全体）　　＊は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	＊
● 経済の世界的な混乱と社会的問題の発生，昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き，中国などアジア諸国との関係，欧米諸国の動き，戦時下の国民の生活などを基に，軍部の台頭から戦争までの経過と，大戦が人類全体に惨禍をもたらしたことを理解させる。 ● 経済の変化の政治への影響，戦争に向かう時期の社会や生活の変化，世界の動きと我が国との関連などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，第一次世界大戦後の国際情勢と大衆の出現を多面的・多角的に考察し，表現させる。 ● 世界恐慌と日本の中国侵略について，そこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付けさせる。	○経済の世界的な混乱と社会的問題の発生，昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き，中国などアジア諸国との関係，欧米諸国の動き，戦時下の国民の生活などを基に，軍部の台頭から戦争までの経過と，大戦が人類全体に惨禍をもたらしたことを理解している。 **思考・判断・表現** ○経済の変化の政治への影響，戦争に向かう時期の社会や生活　の変化，世界の動きと我が国との関連などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，第一次世界大戦後の国際情勢と大衆の出現，第二次世界大戦と人類への惨禍について近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 **主体的に学習に取り組む態度** ● 世界恐慌と日本の中国侵略について，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	C (1) ア (カ)

◆評価規準（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
9	**1　世界恐慌とブロック経済** **（p.222～223）** 世界恐慌の始まり ニューディール ブロック経済	● 世界恐慌の概要と，欧米諸国の対応について理解する。 ● 世界恐慌が発生した理由を，資本主義経済の仕組みに着目して考察し，表現する。	● 世界恐慌の概要と欧米諸国の対応を各国別に理解している。**（知技）** ● 世界恐慌の原因を資本主義経済の仕組みと関連付けて考察し，表現している。**（思判表）**
10	**2　欧米の情勢とファシズム** **（p.224～225）** ファシズム イタリアのファシズム ドイツのファシズム	● イタリアとドイツで台頭してきたファシズムの実態について理解する。 ● ファシズムが日本に与えた影響について考える。	● ファシズムの台頭の様子について理解している。**（知技）**
11	**3　昭和恐慌と政党内閣の危機** **（p.226～227）** 政党政治の進展と行きづまり 昭和恐慌 難航する外交	● 日本の政治の流れを，世界の動きと関連させながら理解する。 ● 世界恐慌の日本への影響と，政党政治の行き詰まりについて，資料から考える。	● 世界の動きと関連させながら，日本の政治の流れを理解している。**（知技）** ● 政党内閣が信頼を失っていった理由を，自分の言葉で述べている。**（思判表）**
12.	**4　満州事変と軍部の台頭** **（p.228～229）** 満州事変と日本の国際的な孤立 軍部の発言力の高まり 経済の回復と重化学工業化	● 満州事変から国際連盟脱退までの経緯を理解する。 ● 国民の困窮や軍部の主張などについて具体的に触れ，当時の日本の状況を考える。	● 満州事変から国際連盟脱退までの経緯を理解している。**（知技）** ● 軍部の主張や国民の生活を具体的に調べ，当時の状況から，日本の進路について考え，自分の意見を述べている。**（思判表）**
13	**5　日中戦争と戦時体制** **（p.230～231）** 日中戦争の開始と長期化 強まる戦時体制 皇民化政策 探究のステップ	● 日本の中国侵略の実態とそれに対する中国民衆の動きを，資料を通して理解する。	● 国民生活が次第に統制されていった状況を理解している。**（知技）** ○日本が日中戦争に突入した理由を　理解している。**（知技）** ○なぜ日本が日中戦争に突入したのかを，国際的な経済状況と関連付けて考察し，表現している。**（思判表）** ● 世界恐慌と日本の中国侵略について，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。**（態度）**

4節　第二次世界大戦と日本

◆評価規準（節全体）　　＊は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	＊
● 昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き，中国などアジア諸国との関係，欧米諸国の動き，戦時下の国民の生活などを基に，軍部の台頭から戦争までの経過と，大戦が人類全体に惨禍をもたらしたことを理解させる。 ● 経済の変化の政治への影響，戦争に向かう時期の社会や生活の変化，世界の動きと我が国との関連などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，第一次世界大戦後の国際情勢と大衆の出現，第二次世界大戦と人類への惨禍について近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現させる。 ● 近代の日本と世界について，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	○昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き，中国などアジア諸国との関係，欧米諸国の動き，戦時下の国民の生活などを基に，軍部の台頭から戦争までの経過と，大戦が人類全体に惨禍をもたらしたことを理解している。	C (1) ア (カ)
	思考・判断・表現	
	○経済の変化の政治への影響，戦争に向かう時期の社会や生活の変化，世界の動きと我が国との関連などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，第一次世界大戦後の国際情勢と大衆の出現，第二次世界大戦と人類への惨禍について近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現させる。	C (2) イ
	主体的に学習に取り組む態度	
	● 第二次世界大戦と日本ついて，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	

◆評価規準（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
14	**1　第二次世界大戦の始まり（p.232～233）** 大戦の開始 戦争の拡大 ドイツの占領政策	●ヨーロッパで戦争が起こり，拡大していった経緯を理解する。 ●ドイツやイタリアと同盟を結ぶなど，日本がとった行動について，国際的な視野で考察し，表現する。	●ヨーロッパで起こった戦争の様子を地図や写真から読み取り，原因や経過を理解している。**（知技）** ● 日独伊三国同盟を結んだ日本の行動について，国際的な視野を踏まえて考察し，表現している。**（思判表）**
15	**2　太平洋戦争の開始（p.234～235）** 日本の南進 日米交渉の決裂 太平洋戦争の始まり	● 日本が太平洋戦争に突入した理由を，国力の差や資源の分布，占領した地域に着目して考察し，表現する。	● 日本が太平洋戦争に突入した理由について，日米の国力差や資源の量，占領した地域と関連付けて考察し，表現している。**（思判表）**
16	**3　戦時下の人々　（p.236～237）** 国民の動員 植民地と占領地 総力戦と犠牲者	● 戦争の長期化とともに，国民生活が統制されていく実態を理解する。	● 日本国内のみでなく，植民地や占領地における状況を理解している。**（知技）**
17	**4　戦争の終結　（p.238～239）** イタリアとドイツの降伏 空襲と沖縄戦 日本の降伏 探究のステップ	● イタリア・ドイツの降伏，沖縄戦から原爆投下などを通して，戦争終結までの経緯を理解する。 ● 戦争の被害の実態を通して，国民の苦しみについて関心を持つ。	● イタリア・ドイツの降伏，沖縄戦，原爆投下などの戦争終結までの概要を理解している。**（知技）** ● 戦争と国民への影響について関心を持ち，自分の意見を述べている。**（思判表）**

			○第二次世界大戦の世界と日本への影響を理解している。**（知技）** ○第二次世界大戦が世界と日本に与えた影響について，大戦発生の原因や大戦下の国民生活と関連付けて考察し，表現している。**（思判表）** ● 第二次世界大戦と日本ついて，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。**（態度）**
–	**［もっと歴史］「解放令」から水平社へ　（p.240～241）** 「解放令」（「賤称廃止令」）とその後 部落改善運動の始まり 水平社創立と山田孝野次郎 島崎藤村と「破戒」	●「解放令」が出された後も，差別に対する運動が起こったことを理解する。 ● 生活の貧困化を克服するために，「部落改善運動」が展開されるが，これに対する反発が，後の水平社創立につながることを理解する。	●「部落改善運動」の内容について理解している。**（知技）**
–	**［もっと歴史］オリンピック・パラリンピックと日本　（p.242～243）** 近代オリンピックの成立 日本のオリンピックへの参加 日本で開催されたオリンピック・パラリンピック	● 近代オリンピック・パラリンピックに関心をもち，成立過程を理解する。 ● 日本のオリンピック参加や，日本での開催を，当時の社会や経済を背景に理解する。	● 近代オリンピック・パラリンピックへの関心を高め，発展の過程を調べたりまとめたりして，成立の流れを理解している。**（知技）** ● オリンピック・パラリンピックと日本の関わりを，オリンピックへの参加や開催国の立場などから多面的・多角的に考えている。**（思判表）**
18 19	**■基礎・基本のまとめ　（p.246～247）** 近代（後半）の学習をふり返ろう **■まとめの活動　（p.248～249）** 戦争へのターニングポイントは何だろう	● 戦争へのターニングポイントは何だったかを通して主に大正時代から昭和時代を大観し，時代の特色を捉える。	○日本がどのように戦争に突入していったかについて理解している。**（知技）** ○主に大正時代から昭和時代の特色を他の時代と比較したり，現代と関連付けたりして考察し，表現している。**（思判表）** ○戦争へのターニングポイントを考えることで，近代という時代の特色を考察し，表現している。**（思判表）** ○近代の日本と世界について，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。**（態度）**

第７章　現代の日本と私たち

◆評価規準（章全体）

指導目標	知識・技能
● 冷戦，我が国の民主化と再建の過程，国際社会への復帰などを基に，第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設がすすめられたことを理解させる。 ● 高度経済成長，国際社会との関わり，冷戦の終結などを基に，我が国の経済や科学技術の進展によって国民の生活が向上し，国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解させる。 ● 諸改革の展開と国際社会の変化，政治の展開と国民生活の変化などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，日本の民主化と冷戦下の国際社会，日本の経済の発展とグローバル化する世界について現代の社会の様子を多面的・多角的に考察し，表現させる。 ● 現代の日本と世界を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現させる。 ● これまでの学習を踏まえ，歴史と私たちとのつながり，現在と未来の日本や世界の在り方について，課題意識をもって多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。 ● 現代の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を身に付けさせる。	○冷戦，我が国の民主化と再建の過程，国際社会への復帰などを基に，第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設がすすめられたことを理解している。 ○高度経済成長，国際社会との関わり，冷戦の終結などを基に，我が国の経済や科学技術の進展によって国民の生活が向上し，国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解している。
	思考・判断・表現
	○諸改革の展開と国際社会の変化，政治の展開と国民生活の変化などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，日本の民主化と冷戦下の国際社会，日本の経済の発展とグローバル化する世界について現代の社会の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ○現代の日本と世界を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。 ○これまでの学習を踏まえ，歴史と私たちとのつながり，現在と未来の日本や世界の在り方について，課題意識をもって多面的・多角的に考察し，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度
	○現代の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
20	**■導入の活動　（p.250～251）** 戦後日本の歩みを考えよう	● 教科書の写真資料を年代順に並べ，敗戦後の日本で起こった出来事を読み取り，現代の日本の特徴を捉える。 ● 写真資料から読み取った現代の日本の特徴などを基に，「探究課題」に対する解答を考え，今後の学習への見通しを持つ。	● 資料の読み解きや比較から，この時代の特色を読み取っている。**（知技）** ● 戦後の日本はどのように発展してきたかという探究課題について，見通しをもって学習に取り組もうとしている。**（態度）**

１節　戦後日本の出発

◆評価規準（節全体）　　＊は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	＊
● 第二次世界大戦後の諸改革により，新しい日本が建設されたことを理解させる。 ● 新しい日本の建設について，占領下の日本の諸政策や苦難を克服した国民に着目して考察し，表現させる。 ● 戦後の日本が苦難を乗り越え，新しい民主的な日本を建設していったことに関心を持ち，課題の解決に取り組もうとする態度を身に付けさせる。	○占領下の日本で，様々な改革が行われ，民主的な新しい日本が建設されていったことを理解している。 **思考・判断・表現** ○新しい日本が民主的な国家を建設していった過程を，占領下の諸改革や国民の苦難と関連させながら，多面的・多角的に考察し，表現している。 **主体的に学習に取り組む態度** ● 国民たちが苦難を克服していきながら，どのように新しい日本を建設していったのかについて，学習に見通しをもち，振り返りを行いながら課題の解決に取り組もうとしている。	C (2) ア (ア)

◆評価規準（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
21	**１　占領下の日本　（p.252～253）** 敗戦後の日本 国民の苦難 占領の始まりと非軍事化	● 敗戦後の日本がどのような状況であったか，また，どのように占領されたのかを考え，表現する。 ● 敗戦後に国民たちが苦難の生活を送る中，日本が占領下に置かれ，改革が始まったことを，闇市やマッカーサーと天皇の資料などを通して理解する。	● 終戦後の日本国民が苦難の生活を送る中で，GHQ が非軍事化などの新しい日本につながる占領政策を進めたことを理解している。**（知技）** ● 終戦後の日本の様子や GHQ による占領政策を，国民生活に着目して考察し，表現している。**（思判表）**
22	**２　民主化と日本国憲法（p.254～255）** 民主化 日本国憲法の制定 政党政治と社会運動の復活 探究のステップ	● 新しい憲法を制定し，民主的な国家を建設していったことを理解する。 ● 新しい憲法が制定され，日本がどのように変化したのかを，大日本帝国憲法との比較を基に考察し，表現する。	○GHQ の占領政策の影響や戦前の反省を受け，国民主権，基本的人権の尊重，平和主義といったそれまでとは異なる民主的な国家を作っていったことを理解している。**（知技）** ○日本国憲法の制定などにより，国民主権，人権の保障などの面を戦前と比較して，民主的な国家になったことを考察し，表現している。**（思判表）** ● 国民がどのように新たな日本を建設していったのか，学習を振り返りながら明らかにしようとし，次の学習に活かそうとしている。**（態度）**

2節　冷戦と日本の発展

◆評価規準（節全体）　　＊は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	＊
● 日本の国際社会への復帰や，その後の国際社会での活動が，冷戦など国際情勢の影響を受けて行われたことを理解させる。 ● 高度経済成長や戦後の文化の発達により，国民生活が大きく向上していったことを理解させる。 ● 冷戦などの国際情勢により，国内の状況がどのように変化していったかを考察し，表現させる。 ● 冷戦が続く中，日本がどのように成長していったかについて，課題の解決に取り組もうとする態度を身に付けさせる。	○冷戦が加速し，東西の対立が深まった影響を受けて，日本が国際社会に復帰し，その後外交関係を広げていったことを理解している。 ○特需をきっかけに経済成長を遂げ，国民生活が向上し，メディアを中心とした様々な文化が生まれたことを理解している。	C (2) ア (ア) (イ)
	思考・判断・表現	
	○日本がどのように国際社会に復帰し，経済成長を遂げていったのかを，国際社会の動きと関連付けながら考察し，表現している。	
	主体的に学習に取り組む態度	
	● 戦後日本の復興と成長の様子ついて，学習に見通しをもち，振り返りを行いながら課題の解決に取り組もうとしている。	

◆評価規準（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
23	**1　冷戦の開始と植民地の解放** **（p.256～257）** 国際連合と冷戦の始まり 新中国の成立と朝鮮戦争 植民地支配の終わり	● 冷戦により新たな国際体制が誕生したことを理解する。 ● 冷戦による国際体制が成立した理由を，それぞれの勢力の中心国家の動向に着目して考察し，表現する。 ● 冷戦の中，日本がどのように経済成長していったのかについて，これまでの学習を生かしながら，「節の問い」の見通しを立てる。	● 資本主義と共産主義が対立する中で冷戦が発生し，国家が分裂したり，植民地支配が終わるなど新たな国際体制が生まれたことを理解している。**（知技）** ● 冷戦という新たな国際体制の成立と影響を，アメリカとソ連の動向を基に，多面的・多角的に考察している。**（思判表）**
25	**2　独立の回復と55年体制** **（p.258～259）** 占領政策の転換 平和条約と安保条約 自民党長期政権と安保条約改定	● 日本がどのような背景で国際社会に復帰していったのかを理解する。 ● 日本がこの時期に国際社会に復帰することができた理由を，国際情勢と関連付けて考察し，表現する。	● 冷戦の激化によりアメリカの占領方針が転換し，日本が資本主義国の一員として国際社会に復帰し，アメリカとの関係を重視した安定政権が生まれたことを理解している。**（知技）** ● 冷戦が激しくなる中，資本主義陣営の強化をめざしたアメリカが日本の独立を認めていったことを考察し，表現している。**（思判表）**
26	**3　緊張緩和と日本外交** **（p.260～261）** 緊張緩和の進展 広がる日本の外交関係 沖縄の日本復帰	● 戦後日本外交の変化を，世界と日本の動きの資料などを通して理解する。 ● なぜ日本が中国など共産主義国とも外交関係を作っていくことができたのかを，世界と日本の動きの資料を基に考察し，表現する。	● 戦後の日本外交や沖縄の復帰が，冷戦の緊張状態が緩和していく中で，東側諸国とも関係を作っていったことを理解している。**（知技）** ● 日本の外交関係の変化を，冷戦の緩和と関連付けながら考察し，表現している。**（思判表）**
27	**4　日本の高度経済成長**	● 日本経済が高度成長を遂げ，国民	● 経済成長と技術の向上により，国

28	（p.262～263） 高度経済成長 国民生活の変化と公害 経済大国日本	生活が変化したことを，理解する。 ● 日本は経済成長により，どのような変化があったのかを，GDP の変化や公害の様子などを基に国外・国内などの面から考察し，表現する。	民生活の利便性が高まり，豊かな生活を送ることができるようになった一方で，公害等の問題が発生したことを理解している。**（知技）** ● 日本の経済成長が国外的にも国内的にも功績と軋轢を生んでいることを考察し，表現している。**（思判表）**
29	**５ マスメディアと現代の文化** （p.264～265） 戦後の文化とマスメディア テレビと高度経済成長期の文化 漫画・アニメと文学の発展 探究のステップ	● 日本のマスメディアが発達し，国民生活に浸透したことを理解する。 ● マスメディアによる文化の普及と国民生活との関係を考察し，表現する。	● マスメディアが社会の発展とともに変化し，重要な文化となったことを理解している。**（知技）** ● テレビ放送やアニメなどの技術が進歩することで，マスメディアが国民生活に深く関わるようになったことを考察し，表現している。**（思判表）** ○冷戦下の日本が経済成長することができたことを理解している。**（知技）** ○なぜ冷戦下で日本が経済成長することができたのかについて，当時の世界情勢と関連付けて考察し，表現している。**（思判表）** ● 戦後の日本や国民生活の変化の様子を，学習を振り返りながら明らかにしようとし，次の学習に活かそうとしている。**（態度）**

3節　新たな時代の日本と世界

◆評価規準（節全体）　　＊は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	＊
● 冷戦の終結の過程や，その後の日本や世界にどのような課題があるのか理解させる。 ● 冷戦の終結や，冷戦後の日本の課題をこれまでの歴史と比べながら考察し，表現させる。 ● 現代の日本の特色を，多面的・多角的に考察させ，表現させる。 ● これまでの学習を踏まえ，歴史と私たちとのつながり，現在と未来の日本や世界の在り方について，課題意識をもって多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。 ● これまでの歴史学習の成果を振り返り，現代社会の諸課題を意識し，SDGs などに関心を持ち，持続可能な社会を創っていこうとする態度を身に付けさせる。	○冷戦がどのように終結したのかや，その後も多くの課題が残されている中で日本が期待されている役割を理解している。 ○日本の国内外の動きや国際社会における役割を理解している。	C (2) ア (イ)
	思考・判断・表現	
	○冷戦後の日本の課題を，国際社会との関わりや，国境を越えて解決に取り組む人々に着目し，多面的・多角的に考察している。 ○現代の日本の特色を，近代と比較しながら多面的・多角的に考察し，表現している。 ○歴史と私たちとのつながり，現在と未来の日本や世界の在り方について，課題意識をもって多面的・多角的に考察，構想し，表現している。	C (2) イ
	主体的に学習に取り組む態度	
	● 現代日本の役割や課題について，学習に見通しをもち，振り返りを行いながら課題の解決に取り組もうとしている。 ● 持続可能な社会を創っていくにはどのようなことが必要かを，これまでの歴史学習を振り返り，学習の見通しに生かしながら取り組んでいる。	

◆評価規準（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
30 31	**1　冷戦後の国際社会** **（p.266～267）** 冷戦の終結 国際協調への動き 相次ぐ地域紛争	● 冷戦終結と，その後の国際協調や地域紛争の動きについて理解する。 ● 冷戦終結後の世界の課題がどのような特徴を持っているのか国家の関わり方に着目して考察し，表現する。	● 冷戦が終結し，国際協調による地域統合が進む一方で，国家を超えた紛争が多発していることを理解している。**（知技）** ● 冷戦終結後の世界で，国家の枠組みを超えた問題が発生していることに着目して考察し，表現している。**（思判表）**
32	**2　冷戦後の日本　（p.268～269）** 冷戦後の日本外交 55 年体制の終わり バブル経済崩壊後の経済	● 冷戦後の日本の課題について理解する。 ● 冷戦終結後の日本の課題を，その原因や現在の問題と関連付けて考察し，表現する。	● 冷戦後の日本の課題が，対外的には他国との歴史的関係の中から，国内的には経済的な好景気の反動により発生していることを理解している。**（知技）** ● 冷戦後の日本の課題の原因が過去にあり，現在でも続いていることを考察し，表現している。**（思判表）**
33	**3　持続可能な社会に向けて** **（p.270～271）** 進展するグローバル化 日本社会が直面する課題	● 現在の日本の課題を，災害や環境などのテーマから捉え，SDGs と関連させて，どの課題から解決していくべきかを考え，表現する。	○現代日本の課題にはどのようなものがあるかを理解している。**（知技）** ○現在の日本の課題が SDGs のどれに該当するのかを考え，それらの

	持続可能な社会 探究のステップ		課題を整理し，どの課題から整理すべきかを多面的・多角的に考察し，表現している。**（思判表）** ● 現代日本の役割や課題について，学習に見通しをもち，振り返りを行いながら課題の解決に取り組もうとしている。**（態度）**
－	**［もっと歴史］日本のエネルギーのこれまで　（p.272～273）** 明治維新からエネルギー革命へ 石油危機と原子力 地球温暖化と再生可能エネルギー 常磐炭鉱と常磐ハワイアンセンター	● 現代のエネルギーの利用と課題を考え，持続可能な社会に向け，これからのエネルギー使用について話し合い，その結果を考察し，表現する。	● 現在の日本のエネルギー利用の特色を基に，持続可能な社会を創っていくために必要なことを考察し，表現している。**（思判表）**
－	**［もっと歴史］震災の記憶を語りつぐ　（p.274～275）** 「稲むらの火」 「此処より下に家を建てるな」 東日本大震災の記憶を伝える取り組み	● 各地の震災に関わる伝承には，どのような意味があるのかを理解する。	● 各地に残る震災に関わる伝承は，同じ悲劇が起き，再び命が失われないために先人が残してくれたものであるという共通点を理解している。**（知技）**
34	**■基礎・基本のまとめ　（p.278～279）** 現代の学習をふり返ろう **■まとめの活動　（p.280～281）** 現在の日本を形作ったものは何だろう	●「基礎・基本のまとめ」を活用し，現代の歴史がどのような時代かを振り返り，理解する。 ●「まとめの活動」として，現在の社会に大きな影響を持つ歴史的事象をランキング形式で話し合い，その結果を表現する。 ● 現代の日本の役割と課題について，振り返りを行い，主体的に課題を追究する。	○戦後の日本はどのように発展してきたか理解している。**（知技）** ○戦後に日本の発展について，世界の情勢や国際社会における日本の位置づけに関連付けて考察し，表現している。**（思判表）** ○まとめの活動としてランキングを作ることで様々な価値観を共有し，現代の日本を形作ったものはなにかを捉え，現代の日本とはどのような特徴をもった時代なのかを考察し，表現している。**（思判表）** ○単元の見通しに対して，不足していたことなどを見出し，修正を行い，次への学習につなげようとしている。**（態度）**
35	**■歴史のまとめ　（p.282～283）** 歴史に学び，未来へと生かそう	● これからの世界や日本の課題とはどのようなもので，いかに解決を図っていくべきかを考察，構想し，表現する。	○これからの世界や日本の課題に対してどのように解決を図っていくかについて多面的・多角的に考察，構想し，表現している。**（思判表）**

公民－12

＜公民的分野＞　『新しい社会　公民』 東京書籍

評価方法］（通年）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・小テスト　　・定期テスト ・資料を活用した作業の取り組み	・課題ワークシート　　・発言 ・定期テスト ・ノート（思考の記録） ・・提出物（レポート）	・発言　　・定期テスト ・ワークシートや作業の取り組み ・提出物（レポート） ・振り返りシート

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
1	■ 持続可能な社会の実現に向けて （巻頭 1～2） ■ 公民学習の初めに （巻頭 3～p.1）	● 公民的分野の学習を始めるにあたって，現代社会の課題や持続可能な社会について考える。 ● 地理的分野や歴史的分野の学習内容を振り返るとともに，教科書の目次などを基に，これから学習する公民的分野の学習の概要を把握する。	● 公民的分野の学習内容のあらましと学習のねらい，地理的分野や歴史的分野との関係について理解している。（知技） ● 現代社会の課題について考え，これからの公民学習を通して主体的に社会に関わろうとしている。（態度）

第 1 章　現代社会と私たち

◆評価規準（章全体）

指導目標	知識・技能
● 現代日本の特色として少子高齢化，情報化，グローバル化などが見られることについて理解させる。 ● 現代社会における文化の意義や影響について理解させる。 ● 位置や空間的な広がり，推移や変化などに着目して，少子高齢化，情報化，グローバル化などが現在と将来の政治，経済，国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し，表現させる。 ● 位置や空間的な広がり，推移や変化などに着目して，文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し，表現させる。 ● 私たちが生きる現代社会と文化の特色について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとさせる。 ● 現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして，対立と合意，効率と公正などについて理解させる。 ● 人間は本来社会的存在であることを基に，個人の尊厳と両性の本質的平等，契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解させる。 ● 対立と合意，効率と公正などに着目して，社会生活における物事の決定の仕方，契約を通した個人と社会との関係，決まりの役割について多面的・多角的に考察し，表現させる。 ● 現代社会を捉える枠組みについて，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとさせる。	○現代日本の特色として少子高齢化，情報化，グローバル化などが見られることについて理解している。 ○現代社会における文化の意義や影響について理解している。 ○現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして，対立と合意，効率と公正などについて理解している。 ○人間は本来社会的存在であることを基に，個人の尊厳と両性の本質的平等，契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。
	思考・判断・表現
	○位置や空間的な広がり，推移や変化などに着目して，少子高齢化，情報化，グローバル化などが現在と将来の政治，経済，国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し，表現している。 ○位置や空間的な広がり，推移や変化などに着目して，文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し，表現している。 ○対立と合意，効率と公正などに着目して，社会生活における物事の決定の仕方，契約を通した個人と社会との関係，決まりの役割について多面的・多角的に考察し，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度
	○私たちが生きる現代社会と文化の特色について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。 ○現代社会を捉える枠組みについて，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。

1節　現代社会の特色と私たち

◆評価規準（節全体）　　＊は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	＊
● 現代日本の特色として少子高齢化，情報化，グローバル化などが見られることについて理解させる。 ● 位置や空間的な広がり，推移や変化などに着目して，少子高齢化，情報化，グローバル化などが現在と将来の政治，経済，国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し，表現させる。 ● 私たちが生きる現代社会について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとさせる。	○現代日本の特色として少子高齢化，情報化，グローバル化などが見られることについて理解している。	A (1)
	思考・判断・表現	
	○位置や空間的な広がり，推移や変化などに着目して，少子高齢化，情報化，グローバル化などが現在と将来の政治，経済，国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し，表現している。	
	主体的に学習に取り組む態度	
	● 私たちが生きる現代社会について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	

◆評価規準（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
2	**■導入の活動　T 市のまちの様子から現代社会をながめてみよう** （p.6～7）	● 教科書の資料や自分の体験などを通して，まちの様子に見られるグローバル化，少子高齢化，情報化を読み取り，まとめる。 ● 資料の読み取りなどを基に，現代社会の特色について考察する。 ● 持続可能な社会の実現に向けて，章の学習に見通しを持っている。	● 教科書のイラストや写真から，現代社会の特色を読み取ったり，読み取ったことを，思考ツールを使って分かりやすく分類したり説明したりしている。**（知技）** ● 現代社会の特色について，対話的な活動を通して考察し，適切に表現している。**（思判表）** ● 持続可能な社会の実現に向けて私たちには何ができるかについての考察に，章の学習の見通しを持って取り組もうとしている。**（態度）**
3	**1　持続可能な社会に向けて** （p.8～9） 持続可能な社会とは 持続可能な社会の実現に向けて 私たちが創る社会	● 持続可能性とはどのような考えに基づいているか理解する。 ● 持続可能な社会の実現に必要な態度について，社会参画と関連付けて考察し，表現する。	● 持続可能性とはどのようなことを意味しているか，本文の読み取りを通して理解している。**（知技）** ● 持続可能な社会の実現に必要な態度とはどのようなものか，社会参画と関連付けて考察し，表現している。**（思判表）**
4	**2　グローバル化　結び付きを深める世界** （p.10～11） グローバル化とは 国際競争と国際分業 グローバル社会と日本	● グローバル化とは生活や社会のどのような変化か，具体的な事例を通して理解する。 ● グローバル化の進展で生活や社会が豊かで便利になった点や，課題について考察する。	● グローバル化とは生活や社会のどのような変化か，本文の読み取りを通して理解している。**（知技）** ● グローバル化の進展で生活や社会が豊かで便利になった点や，課題について考察し，表現している。**（思判表）**
5	**3　少子高齢化　変わる人口構成と家族** （p.12～13） 少子高齢化とは 多様化する家族の形 少子高齢社会の課題	● 人口ピラミッドなどの統計資料を基に，日本における少子高齢化の進行と，その原因について理解する。 ● 少子高齢化の進行や家族の多様化に伴う課題，解決に向けた取り組みについて，自分の考えを表現する。	● 少子化の原因として考えられることを本文の読み取りを通して理解している。**（知技）** ● 身近な地域での少子高齢化への対応を調べる活動を基に，高齢者支援と子育て支援について考察し，表現している。**（思判表）**

公民－14

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
6	**4　情報化　情報が変える社会の仕組み** （p.14～15） 情報化とは 情報化による社会の変化 情報化の課題 探究のステップ	● 情報化の進展で生活や社会が豊かで便利になった点について理解する。 ● 情報化の進展による課題を挙げ，私たちが解決のためにできることについて考察し，表現する。 ● 1節の学習内容を基に，現代日本の特色として少子高齢化，情報化，グローバル化などが見られることについて理解する。 ● 1節の学習内容を振り返って，位置や空間的な広がり，推移や変化などに着目して，少子高齢化，情報化，グローバル化などが現在と将来の政治，経済，国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察，表現する。 ● 私たちが生きる現代社会について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとする。	● 情報化の進展で生活や社会が豊かで便利になった点について理解している。（**知技**） ● 情報化の進展による課題を挙げ，私たちが解決のためにできることについて考察し，表現している。（**思判表**） ○1節の学習内容を基に，現代日本の特色として少子高齢化，情報化，グローバル化などが見られることについて理解している。（**知技**） ○1節の学習内容を振り返って，位置や空間的な広がり，推移や変化などに着目して，少子高齢化，情報化，グローバル化などが現在と将来の政治，経済，国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察，表現している。（**思判表**） ● 私たちが生きる現代社会について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。（**態度**）
－	**［もっと公民］新しい情報技術で社会が変わる** （p.16～17） 新しい情報技術って？ AI や IoT で食生活を支える 高齢社会を暮らしやすく サービスの質の向上のために	● AI や IoT などの新しい情報技術の導入が進展していることを知り，それによってもたらされる社会の変化について理解する。 ● 新しい情報技術が現代社会の課題の解決に役立っていることを知り，今後の情報技術の進展の可能性について自分の考えを表現する。	● AI や IoT などの新しい情報技術が社会を大きく変化させ，現代社会の課題の解決に向けて様々な場面で活用されていることを理解している。（**知技**） ● 新しい情報技術がどのような場面で活用されているか，また，どのようなことを可能にしているのかについて，考察し，表現している。（**思判表**）

2 節　私たちの生活と文化

◆評価規準（節全体）　　＊は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	＊
● 現代社会における文化の意義や影響について理解させる。 ● 位置や空間的な広がり，推移や変化などに着目して，文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し，表現させる。 ● 文化の特色について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとさせる。	○現代社会における文化の意義や影響について理解している。	A (1)
	思考・判断・表現	
	○位置や空間的な広がり，推移や変化などに着目して，文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し，表現している。	
	主体的に学習に取り組む態度	
	● 文化の特色について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	

◆評価規準（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
7	**1　私たちの生活と文化の役割** （p.18～19） 文化とは 科学・宗教・芸術の役割 文化の役割と課題	● 文化の具体的な内容について理解する。 ● 科学・宗教・芸術を中心に，文化の役割について考察する。	● 文化の具体的な内容を，科学，宗教，芸術の分野を例に挙げ，理解している。（**知技**） ● 科学，宗教，芸術の分野を例に文化の果たす役割について考察し，表現している。（**思判表**）
8	**2　伝統文化と新たな文化の創造** （p.20～21） 伝統文化とは 日本の多様な伝統文化 伝統文化の継承の課題	● 日本の伝統文化の具体的な内容や私たちの生活への影響について理解する。 ● 日本文化の地域的多様性や，伝統文化の継承と保存について考察する。	● 身近な地域に見られる文化の具体的な内容について理解している。（**知技**） ● 伝統文化を継承し，保持するために私たちにできることは何かを考察し，表現している。（**思判表**）
9	**3　多文化共生を目指して** （p.22～23） 世界に広がる日本文化 日本の中の国際的な文化 多文化共生の実現のために 探究のステップ	● 多文化共生とはどのようなことを意味しているか理解する。 ● 多文化共生の社会を築くために，私たちに求められていることについて考察する。 ● 2 節の学習内容を基に，現代社会における文化の意義や影響について理解する。 ● 2 節の学習内容を振り返って，位置や空間的な広がり，推移や変化などに着目して，文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察，表現する。 ● 文化の特色について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとする。	● 多文化共生とはどのようなことを意味しているか，本文の読み取りを通して理解している。（**知技**） ● 多文化共生の社会を築くために，私たちにできる具体的な取り組みについて考察している。（**思判表**） ○2 節の学習内容を基に，現代社会における文化の意義や影響について理解している。（**知技**） ○2 節の学習内容を振り返って，位置や空間的な広がり，推移や変化などに着目して，文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察，表現している。（**思判表**） ● 文化の特色について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。（**態度**）

3 節　現代社会の見方や考え方

◆評価規準（節全体）　　＊は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	＊
● 現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして，対立と合意，効率と公正などについて理解させる。 ● 人間は本来社会的存在であることを基に，個人の尊厳と両性の本質的平等，契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解させる。 ● 対立と合意，効率と公正などに着目して，社会生活における物事の決定の仕方，契約を通した個人と社会との関係，決まりの役割について多面的・多角的に考察し，表現させる。 ● 現代社会を捉える枠組みについて，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとさせる。	○現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして，対立と合意，効率と公正などについて理解している。 ○人間は本来社会的存在であることを基に，個人の尊厳と両性の本質的平等，契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。	A (2)
	思考・判断・表現	
	○対立と合意，効率と公正などに着目して，社会生活における物事の決定の仕方，契約を通した個人と社会との関係，決まりの役割について多面的・多角的に考察し，表現している。	
	主体的に学習に取り組む態度	
	● 現代社会を捉える枠組みについて，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	

◆評価規準（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
10	**1　社会集団の中で生きる私たち** （p.24～25） 社会集団とは 社会的存在としての人間 対立と合意	● 自分が家族や地域社会などの複数の社会集団に所属していることや，人間が社会的存在であることを理解する。 ●「マンガ トラブル！」の事例を基に，社会集団における対立の存在と合意への努力について考察する。	● 自分が家族や地域社会などの複数の社会集団に所属していることや，人間が社会的存在であることを理解している。**（知技）** ● 社会集団における対立の存在に気付くとともに，合意を目指すことが重要であることについて考察し，表現している。**（思判表）**
11	**2　決まりを作る目的と方法** （p.26～27） さまざまな決まりと目的 権利と責任・義務 決まりを作るさまざまな方法	● 物事の決定の仕方や決まりの意義について理解する。 ●「2 年前の学校でのトラブルについて考えよう」の事例を参考に，物事の決定の仕方や決まりの意義について社会集団と関連付けて考察し，表現する。	● 物事の決定の仕方や決まりの意義について本文の読み取りを通して理解している。**（知技）** ● 決まりが必要な理由について対立と合意に着目し，社会集団と関連付けて考察し，表現している。**（思判表）**
12	**3　効率と公正** （p.28～29） 全員が納得するために 効率とは 公正とは	● 合意を得るためには効率と公正の考え方が重要であり，その考え方を理解する。 ●「1 年前の学校でのトラブルについて考えよう」の事例について，対立と合意，効率と公正に着目して，考察する。	● 効率と公正の意味とその重要性について本文の読み取りを通して理解している。**（知技）** ● みんなが納得できる解決策の在り方について，対立と合意，効率と公正に着目して考察し，表現している。**（思判表）**
13	**4　決まりの評価と見直し** （p.30～31） 決まりは変更できる 決まりを評価する観点 共生社会を目指して 探究のステップ	● 必要に応じて決まりを見直すことの重要性を理解する。 ● 決まりを見直す際の見直し方について対立と合意，効率と公正に着目して考察する。 ● 3 節の学習内容を基に，現代社	● 必要に応じて決まりを見直す意義について，身の回りでルールが変わった例を通して理解している。**（知技）** ● ルールを見直す際の見直し方について対立と合意，効率と公正に着目して考察している。**（思判表）**

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
		会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして，対立と合意，効率と公正などについて理解する。 ● 3 節の学習内容を基に，人間は本来社会的存在であることを基に，個人の尊厳と両性の本質的平等，契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解する。 ● 3 節の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正などに着目して，社会生活における物事の決定の仕方，契約を通した個人と社会との関係，決まりの役割について多面的・多角的に考察し，表現する。 ● 現代社会を捉える枠組みについて，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとする。	○3 節の学習内容を基に，現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして，対立と合意，効率と公正などについて理解している。**（知技）** ○3 節の学習内容を基に，人間は本来社会的存在であることを基に，個人の尊厳と両性の本質的平等，契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。**（知技）** ○3 節の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正などに着目して，社会生活における物事の決定の仕方，契約を通した個人と社会との関係，決まりの役割について多面的・多角的に考察し，表現している。**（思判表）** ● 現代社会を捉える枠組みについて，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。**（態度）**
14	**■基礎・基本のまとめ　第 1 章の学習をふり返ろう** （p.33） **■まとめの活動　T 市の自転車の使用ルールを考えよう** （p.34～35）	● 第1章の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正などに着目して市の駐輪場問題を多面的・多角的に考察する。 ● 市の駐輪場問題について，対立から合意に導くための解決策を，決まりを評価する視点に基づいて検討することを通して自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとする。	○第1章の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正などに着目して，社会生活における物事の決定の仕方，契約を通した個人と社会との関係，決まりの役割について多面的・多角的に考察，表現している。**（思判表）** ○現代社会を捉える枠組みについて，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組むことを通して，主体的に社会に関わろうとしている。**（態度）**
－	**［もっと公民］オリンピック・パラリンピックと日本の心** （p.36） オリンピック・パラリンピックを「OMOTENASHI」の心で オリンピック・パラリンピックと日本の文化 オリンピック・パラリンピックで伝えたい日本の心	● 東京オリンピック・パラリンピックをきっかけに町の中でどのような変化が見られるか調べ，道路標識などから読み取ったことと関連付けて表現する。 ● 訪日する外国人に対して，自分の伝えたい日本の文化の特徴を分かりやすくまとめる学習を通して，主体的に社会に関わろうとする。	● 訪日外国人が増加することを見越して，町の中でどのような変化が見られるか調べ，道路標識などから読み取ったことと関連付けて表現している。**（思判表）** ● 東京オリンピック・パラリンピックへの関心を高め，世界に発信したいと考える日本の文化の学習を通して，主体的に社会に関わろうとしている。**（態度）**

第 2 章　個人の尊重と日本国憲法

◆評価規準（章全体）

指導目標	知識・技能
● 人間の尊重についての考え方を，基本的人権を中心に深め，法の意義を理解させる。 ● 民主的な社会生活を営むためには，法に基づく政治が大切であることを理解させる。 ● 日本国憲法が基本的人権の尊重，国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解させる。 ● 日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解させる。 ● 対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配などに着目して，対話的な活動を通じ，我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について，多面的・多角的に考察，表現させる。 ● 人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとさせる。	○人間の尊重についての考え方を，基本的人権を中心に深め，法の意義を理解している。 ○民主的な社会生活を営むためには，法に基づく政治が大切であることを理解している。 ○日本国憲法が基本的人権の尊重，国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 ○日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。
	思考・判断・表現
	○対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配などに着目して，「ちがいのちがいを追究しよう」などの対話的な活動を通じ，我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について，多面的・多角的に考察，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度
	○人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。

1節　人権と日本国憲法

◆評価規準（節全体）　　＊は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	＊
● 人権思想の歴史など歴史的分野の学習内容を踏まえて，日本国憲法が基本的人権の尊重，国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解させる。 ● 日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解させる。 ● 対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配などに着目して，対話的な活動を通じ日本国憲法が大切にされてきた理由について，多面的・多角的に考察，表現させる。 ● 日本国憲法が大切にされてきた理由について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとさせる。	○人権思想の歴史など歴史的分野の学習内容を踏まえて，日本国憲法が基本的人権の尊重，国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 ○日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。	C (1)
	思考・判断・表現	
	○対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配などに着目して，対話的な活動を通じ日本国憲法が大切にされてきた理由について，多面的・多角的に考察，表現している。	
	主体的に学習に取り組む態度	
	● 日本国憲法が大切にされてきた理由について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	

◆評価規準（各時間ごと）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
15	**■章扉** （p.37） **■導入の活動　ちがいのちがい** （p.38～39）	● 文化や個性の多様性について 9 枚のカードから具体的な事例を整理し，自らの考えとともにまとめる。 ● 文化や個性の多様性について，カードに示された事例についての対話的な活動を通して適切に表現する。 ● 日本国憲法が大切にされてきた理由の考察に向けて，章の学習に見通しを持って取り組もうとする。	● 文化や個性の多様性について具体的な事例を整理し，自らの考えとともに表（マトリックス）にまとめている。（**知技**） ● 文化や個性の多様性について対話的な活動を通して個人の尊重に着目して，適切に表現している。（**思判表**） ● 日本国憲法が大切にされてきた理由についての考察に向けて，章の学習に見通しを持って取り組もうとしている。（**態度**）
16	**1　人権の歴史と憲法** （p.40～41） 人権の考え方 人権思想の発展と広がり 憲法と立憲主義の意義	● 人の支配と法の支配の違いについて，資料 4 などを通して両者の比較から理解する。 ● 人権と憲法にはどのような関係があるかについて，人権思想と憲法の歴史と関連させて考察する。	● 人権思想と憲法の歴史の学習を踏まえ，人権と憲法の関係から法の支配について理解している。（**知技**） ● 立憲主義が重要な理由を，人の支配と法の支配の違いや憲法の役割に着目して，適切に表現している。（**思判表**）
17 18	**2　日本国憲法とは** （p.42～43） 大日本帝国憲法 日本国憲法の制定とその基本原理 日本国憲法が定める政治の仕組み	● 大日本帝国憲法と日本国憲法の比較を通して，日本国憲法の三つの基本原理を理解する。 ● 日本国憲法はどのような考え方に基づいて作られているかについて，大日本帝国憲法との比較から適切に表現する。	● 日本国憲法の三つの基本原理について，本文の読み取りを通して理解している。（**知技**） ● 日本国憲法の仕組みの特色を，大日本帝国憲法との違いに着目して適切に表現している。（**思判表**）
19	**3　国民主権と私たちの責任** （p.44～45） 国民主権と政治参加	● 国民主権の意味について，選挙，憲法改正の国民投票，象徴としての天皇などの事例を通して	● 国民主権とは，どのようなことを意味しているか，本文の読み取りを通して理解している。（**知技**）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
	憲法改正 「象徴」としての天皇	理解する。 ● なぜ国民主権は大切なのかについて，法の支配に着目して適切に表現する。	● 国民主権が重要な理由を，学習した内容を活用し，法の支配に着目して適切に表現している。（**思判表**）
20 21	**4　平和主義の意義と日本の役割** （p.46～47） 平和主義と憲法第９条 日米安全保障条約と集団的自衛権 自衛隊の国際貢献 被爆国日本の役割	● 日本が掲げる平和主義について，歴史的分野の学習内容や自衛隊の活動などを踏まえて具体的な事例を通して理解する。 ● 平和主義を掲げる日本は国際社会でどのような役割を果たしていくべきか，資料に示された具体的な事例を挙げながら，適切に表現する。	● 日本が平和主義を掲げる理由について本文の読み取りを通して理解している。（**知技**） ● 国際平和のために日本が果たす役割について，自衛隊の活動や，被爆国としての日本の立場を踏まえて，適切に表現している。（**思判表**）
22	**5　基本的人権と個人の尊重** （p.48～49） 人権を保障するとは だれもが持っている人権 子どもの人権 探究のステップ	● 個人の尊重とはどのようなことを意味しているか理解する。 ● なぜ基本的人権を保障することが重要なのか，資料に示された事例と憲法との関係を基に個人の尊重や法の下の平等と関連付けて，対話的な活動を通して適切に表現する。 ● 1 節の学習内容を基に，日本国憲法が基本的人権の尊重，国民主権及び平和主義を基本的原則としていることや，日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解する。 ● 1 節の学習内容を振り返って，基本的人権の保障に必要なことを，個人の尊重や法の下の平等と関連付けて，表現する。 ● 探究のステップにある，日本国憲法が大切にされてきた理由の考察に自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組むことを通して，主体的に社会に関わろうとする。	● 個人の尊重とはどのようなことを意味しているか理解している。（**知技**） ● 基本的人権の保障に必要なことを，法の下の平等に着目して考察している。（**思判表**） ○1 節の学習内容を基に，日本国憲法が基本的人権の尊重，国民主権及び平和主義を基本的原則としていることや，日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。（**知技**） ○1 節の学習内容を振り返って，基本的人権の保障に必要なことを，個人の尊重や法の下の平等と関連付けて，適切に表現している。（**思判表**） ● 具体的な事例を基に，日本国憲法が大切にされてきた理由を，自らの学習を振り返りながら粘り強く考察することを通して，主体的に社会に関わろうとしている。（**態度**）

2節　人権と共生社会

◆評価規準（節全体）　　＊は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	＊
● 人間の尊重についての考え方を，基本的人権を中心に深め，法の意義を理解させる。 ● 対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配などに着目して，日本国憲法において，人権保障が大切にされている理由について，対話的な活動を通じ，多面的・多角的に考察，表現させる。 ● 人権保障が大切にされている理由について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとさせる。	○人間の尊重についての考え方を，基本的人権を中心に深め，法の意義を理解している。	C (1)
	思考・判断・表現	
	○対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配などに着目して，日本国憲法において，人権保障が大切にされている理由について，対話的な活動を通じ，多面的・多角的に考察，表現している。	
	主体的に学習に取り組む態度	
	● 人権保障が大切にされている理由について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	

◆評価規準（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
23	1　平等権①　共生社会を目指して （p.50～51） 平等に生きる権利 部落差別の撤廃 アイヌ民族への差別の撤廃 在日韓国・朝鮮人への差別の撤廃	● 日本にはどのような差別があるかを部落差別，アイヌ民族への差別，在日韓国・朝鮮人への差別など具体的な事例を通して理解する。 ● 差別をなくすためにどのような努力がなされてきたか，個人の尊重の観点から適切に表現する。	● 現在も日本に残っている差別の例を本文の読み取りを通して理解している。（**知技**） ● 差別をなくすために重要なことを，個人の尊重の観点から考察し，表現している。（**思判表**）
24	2　平等権②　共生社会を目指して （p.52～53） 男女平等を目指して 性の多様性への理解 障がいのある人への理解 在日外国人への理解	● 共生社会を築いていくために，インクルージョンの考察など対話的な活動を通して様々な立場の人がいることを理解する。 ● 共生社会を築いていくために，私たちにはどのような取り組みや努力が求められているか，インクルージョンの実現と関連付けて考察し，表現する。	● インクルージョンの実現とはどのようなことを意味しているか，本文の読み取りを通して理解している。（**知技**） ● 共生社会の実現のために必要なことを平等権の学習全体を通して考察し，表現している。（**思判表**）
25	3　自由権　自由に生きる権利 （p.54～55） 憲法が保障する自由とは 精神の自由 身体の自由 経済活動の自由	● 自由権とはどのような権利であるか，写真資料から様々な自由があることを体系的に理解する。 ● 自由権は日本国憲法でどのように保障されているか，Yチャートの活動など対話的な活動を通して個人の尊重の観点から考察し，表現する。	● 自由権にはどのような種類があるか，本文の読み取りを通して理解している。（**知技**） ● 自由権が保障されることが重要な理由を，個人の尊重の観点から考察し，表現している。（**思判表**）

公民－22

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
26	**4　社会権　豊かに生きる権利** **（p.56～57）** 人間らしい生活を営む権利 生存権 教育を受ける権利 勤労の権利と労働基本権	● 社会権とはどのような権利であるか，写真資料から様々な権利があることを体系的に理解する。 ● 社会権が日本国憲法でどのように保障されているか，生存権に関する対話的な活動などを通して自由権（経済活動の自由）との関係から考察し，表現する。	● 社会権にはどのような種類があるか，本文の読み取りを通して理解している。**（知技）** ● 社会権が保障された理由を，自由権（経済活動の自由）との関係から考察し，表現している。**（思判表）**
27	**5　人権を確実に保障するための権利** **（p.58～59）** 参政権 裁判を受ける権利 その他の請求権	● 私たちの人権保障を確かなものにするために，日本国憲法では具体的にどのような権利が保障されているか，資料の読み取りを通して理解する。 ● 私たちの人権保障を確かなものにするために，参政権や請求権が日本国憲法で保障されている理由について資料の事例を通して考察し，表現する。	● 参政権や請求権にはどのような種類があるか，本文の読み取りを通して理解している。**（知技）** ● 参政権や請求権が人権の保障にとって重要な理由を，個人の尊重の観点から考察し，表現している。**（思判表）**
28	**6 「公共の福祉」と国民の義務** **（p.60～61）** 「公共の福祉」とは 人権の制限が許される場合 国民の義務 探究のステップ	● 自由や権利の限界，制限されている例を本文や資料の読み取りを通して理解する。 ● 国民の義務と日本国憲法の関係について考察する。 ● 2 節の学習内容を基に，人間の尊重についての考え方を，基本的人権を中心に深め，法の意義を理解する。 ● 2 節の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配などに着目して，日本国憲法において，人権保障が大切にされている理由について，対話的な活動を通じ，多面的・多角的に考察，表現する。 ● 探究のステップにある，日本国憲法で人権を保障することが大切な理由の考察に粘り強く取り組むことを通して，自らの学習を振り返りながら主体的に社会に関わろうとする。	● 自由や権利の限界，制限されている例を本文や資料の読み取りを通して理解している。**（知技）** ● 国民の義務と日本国憲法の関係について考察している。**（思判表）** ○2 節の学習内容を基に，人間の尊重についての考え方を，基本的人権を中心に深め，法の意義を理解している。**（知技）** ○2 節の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配などに着目して，日本国憲法において，人権保障が大切にされている理由について，対話的な活動を通じ，多面的・多角的に考察，表現している。**（思判表）** ● 具体的な事例を基に，日本国憲法で人権を保障することが大切な理由を，自らの学習を振り返りながら粘り強く考察することを通して，主体的に社会に関わろうとしている。**（態度）**

3 節　これからの人権保障

◆評価規準（節全体）　　＊は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	＊
● 社会の変化に伴って人権の考え方が変化していく中でも，民主的な社会生活を営むためには，法に基づく政治が大切であることを理解させる。 ● 対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配などに着目して，社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について，対話的な活動を通じ，多面的・多角的に考察，表現させる。 ● 社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとさせる。	○社会の変化に伴って人権の考え方が変化していく中でも，民主的な社会生活を営むためには，法に基づく政治が大切であることを理解している。	C (1)
	思考・判断・表現	
	○対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配などに着目して，社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について，対話的な活動を通じ，多面的・多角的に考察，表現している。	
	主体的に学習に取り組む態度	
	● 社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	

◆評価規準（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
29	**1　新しい人権①　産業や科学技術の発展と人権** **（p.62～63）** 社会の変化と「新しい人権」 環境権 科学技術の発展と人権 自己決定権	● 産業や科学技術の発展に伴う具体的な課題を資料から読み取り，認められてきた権利との関係を理解する。 ● 産業や科学技術の発展に伴ってどのような課題が生まれどのような権利が認められてきたのか，適切に表現する。	● 環境権や自己決定権など「新しい人権」が認められてきた理由について，理解している。**（知技）** ● 新しい人権がどのような対立を解消するためのものか，その関係について，適切に表現している。**（思判表）**
30	**2　新しい人権②　情報化の進展と人権** **（p.64～65）** 知る権利 プライバシーの権利 インターネットと人権	● 情報化の進展に伴う具体的な課題を資料から読み取り，認められてきた権利との関係を理解する。 ● 情報化の進展に伴ってどのような課題が生まれどのような権利が認められてきたのか，適切に表現する。	● 情報化の進展に伴う具体的な課題と認められてきた権利の関係について，理解している。**（知技）** ● インターネットの発達など，情報化の進展に伴ってどのような課題が生まれどのような権利が認められてきたのか，適切に表現している。**（思判表）**
31	**3　グローバル社会と人権** **（p.66～67）** 発展途上国の社会的弱者 人権保障の国際的な広がり グローバル社会における人権保障 探究のステップ	● 国際社会にはどのような人権上の課題があるか理解する。 ● 人権上の課題の解決に向けてどのような取り組みがなされてきたか考察し，表現する。 ● 3 節の学習内容を基に，社会の変化に伴って人権の考え方が変化していく中で，民主的な社会生活を営むためには，法に基づく政治が大切であることを理解する。 ● 3 節の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配などに着目して，社会の変化に伴って新しい	● 人権保障のために様々な条約があることを理解している。**（知技）** ● 人権上の課題の解決に取り組む組織と，になっている役割について考察している。**（思判表）** ○3 節の学習内容を基に，社会の変化に伴って人権の考え方が変化していく中で，民主的な社会生活を営むためには，法に基づく政治が大切であることを理解している。**（知技）** ○3 節の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配などに着目して，社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について，対話的な活動を通じ，多面的・多角的に考察，表現

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
		人権が認められてきた理由について，対話的な活動を通じ，多面的・多角的に考察，表現する。 ● 探究のステップにある，新しい人権が認められてきた理由の考察に自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとする。	している。（**思判表**） ● 具体的な事例を基に，新しい人権が認められてきた理由の考察に自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。（**態度**）
32	**■基礎・基本のまとめ　第２章の学習をふり返ろう** （p.69） **■まとめの活動　ちがいのちがいを追究しよう** （p.70～71）	● 第２章の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配などに着目して，対話的な活動を通じ，我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について，多面的・多角的に考察，表現する。 ● 日本国憲法が保障する権利を守るために，私たちはどのように社会に関わるべきか自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとする。	○第 2 章の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配などに着目して，対話的な活動を通じ，我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について，多面的・多角的に考察，表現している。（**思判表**） ○日本国憲法が保障する権利を守るために，私たちはどのように社会に関わるべきか自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。（**態度**）
－	**［もっと公民］先住民族としてのアイヌ民族** （p.72～73） 日本の「先住民族」 明治時代からの同化政策 先住民族としての権利を求めて 国際的な関心の高まり	● アイヌ民族をめぐる問題の事例を基に，国内の人権上の様々な課題を国際的な動きと関連付けて適切に表現する。 ● アイヌ民族に対する政策の問題点を挙げ，問題点の解決に向けどのようにすればよいか，公正の観点から，適切に表現する。	● アイヌ民族をめぐる問題の事例を基に，国内の人権上の様々な課題を国際的な動きと関連付けて考察し，適切に表現している。（**思判表**） ● アイヌ民族に対する政策の問題点を挙げ，問題点の解決に向けどのようにすればよいか，公正の観点から考察し，適切に表現している。（**思判表**）
－	**［もっと公民］だれもが暮らしやすい共生社会に** （p.74） 障がいのある人の働く機会の保障 性の多様性の尊重のために	● 障がいのある人や多様な性の意識への配慮がなされる社会を築くためにどのようにすればよいか，個人の尊重の観点から，適切に表現する。 ● 障がいのある人や様々な性の意識を持つ人が生きやすい社会を創るために主体的に社会に参画しようとする。	● 障がいのある人や多様な性の意識への配慮がなされる社会を築くためにどのようにすればよいか，個人の尊重の観点から考察し，適切に表現している。（**思判表**） ● 第２章の学習を振り返りながら，障がいのある人や様々な性の意識を持つ人が生きやすい社会を創るために主体的に社会に参画しようとしている。（**態度**）

第３章　現代の民主政治と社会

◆評価規準（章全体）

指導目標	知識・技能
● 国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解させる。 ● 議会制民主主義の意義，多数決の原理とその運用の在り方について理解させる。 ● 国民の権利を守り，社会の秩序を維持するために，法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解させる。 ● 地方自治の基本的な考え方について理解させる。その際，地方公共団体の政治の仕組み，住民の権利や義務について理解させる。 ● 対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。 ● 民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとさせる。	○国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。 ○議会制民主主義の意義，多数決の原理とその運用の在り方について理解している。 ○国民の権利を守り，社会の秩序を維持するために，法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 ○地方自治の基本的な考え方について理解している。その際，地方公共団体の政治の仕組み，住民の権利や義務について理解している。
	思考・判断・表現
	○対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について「S 市の市長になって条例を作ろう」などの対話的な活動を通じ，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度
	○民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。

1節　現代の民主政治

◆評価規準（節全体）　　＊は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	＊
● 議会制民主主義の意義，多数決の原理とその運用の在り方について理解させる。 ● 対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ，多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。 ● 民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとさせる。	○議会制民主主義の意義，多数決の原理とその運用の在り方について理解している。 **思考・判断・表現** ○対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 **主体的に学習に取り組む態度** ● 民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	C (2)

◆評価規準（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
33	■章扉 （p.75） ■導入の活動　だれを市長に選ぶ？ （p.76～77）	● 市長選挙のスローガンについて具体的な事例を整理し，自らの考えとともに表（マトリックス）にまとめる。 ● 市長選挙のスローガンについて対話的な活動を通して個人の尊重に着目して，適切に表現する。 ● 民主主義に基づく政治についての考察に，章の学習の見通しを持って取り組もうとする。	● 市長選挙のスローガンについて具体的な事例を整理し，自らの考えとともに表（マトリックス）にまとめている。（**知技**） ● 市長選挙のスローガンについて対話的な活動を通して個人の尊重に着目して，適切に表現している。（**思判表**） ● 民主主義に基づく政治についての考察に，章の学習の見通しを持って取り組もうとしている。（**態度**）
34	1　政治と民主主義 （p.78～79） 政治とは 民主主義とは 多数決と少数意見の尊重	● 民主主義がどのような考え方であるか理解する。 ● 民主主義で物事を決める際に必要とされることや，私たちに求められていることについて考察し，適切に表現する。	● 民主政治における物事の決定の仕組みについて理解している。（**知技**） ● 民主主義で物事を決める際に必要とされることや，私たちに求められていることについて考察し，適切に表現している。（**思判表**）
35 36	2　選挙の意義と仕組み （p.80～81） 政治参加としての選挙 選挙の基本原則 日本の選挙制度	● 選挙がなぜ大切であるかについて理解する。 ● 選挙が果たしている役割について，民主主義に着目して考察し，表現する。	● 現在の日本で行われている選挙の基本原則について，本文の読み取りを通して理解している。（**知技**） ● 選挙が果たしている役割について，民主主義に着目して考察し，表現している。（**思判表**）
37	3　政党の役割 （p.82～83） 政党の働き 政党政治 日本の政党政治	● 政党の果たす役割について理解する。 ● 国民と政党の関係について，民主主義に着目して考察し，表現する。	● 日本で行われている政党政治の特徴を，本文の読み取りを通して理解している。（**知技**） ● 国民と政党の関係について，民主主義に着目して考察し，表現している。（**思判表**）
38	4　マスメディアと世論 （p.84～85）	● マスメディアの役割と政治に与える影響について理解する。	● 世論とは，どのようなことを意味しているか，本文の読み取りを通して理解している。（**知**

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
	世論とマスメディア メディアリテラシー 公正な世論を形成するために	● 私たちがマスメディアと接する際に注意すべきことを考察し，表現する。	技） ● 私たちがマスメディアと接する際に注意すべきことを考察し，表現している。（思判表）
39 40	**5　選挙の課題と私たちの政治参加** （p.86～87） 棄権の増加 一票の格差 私たちの政治参加 探究のステップ **主権者としての心がまえ** **［主権者教育］**	● 私たちが**主権者としてできる政治参加の方法**を理解する。 ● 選挙の投票率を上げるにはどうしたらよいか，政治参加に着目して考察し，表現する。 ● 1節の学習内容を基に，議会制民主主義の意義，多数決の原理とその運用の在り方、**主権者としての権利について理解する。** ● 1節の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ，多面的・多角的に考察，構想し，表現する。 ● 民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，**主権者として社会に関わろうとする。**	● 私たちが**主権者としてできる政治参加の方法**を理解している。（知技） ● 選挙の投票率を上げるにはどうしたらよいか，政治参加に着目して考察し，表現している。（思判表） ○1節の学習内容を基に，議会制民主主義の意義，多数決の原理とその運用の在り方について理解している。（知技） ○1節の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。（思判表） ● 民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。（態度） ● **主権者として、どのような意識をもって政治に参加するべきかを考える。［主権者教育］（思判表）**
41	**［18 歳へのステップ］選挙の流れ** （p.88～89）	● 実際の選挙がどのように行われているのか，資料を通して一連の流れを理解する。 ● 具体的な選挙の手続きを調べることを通して，主体的に政治に参加しようとする。	● 実際の選挙がどのように行われているのか，資料を通して一連の流れを理解している。（知技） ● 具体的な選挙の手続きを調べることを通して，主体的に政治に参加しようとしている。（態度）

2節　国の政治の仕組み

◆評価規準（節全体）　　＊は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	＊
● 国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解させる。 ● 国民の権利を守り，社会の秩序を維持するために，法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解させる。 ● 対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ，多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。 ● 民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとさせる。	○国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。 ○国民の権利を守り，社会の秩序を維持するために，法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。	C (2)
	思考・判断・表現	
	○対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。	
	主体的に学習に取り組む態度	
	● 民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	

◆評価規準（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
42	**1　国会の地位と仕組み** （p.90～91） 国会の地位 国会議員の地位 二院制 国会の種類	● 国会の地位と仕組みについて理解する。 ● 国会が「国権の最高機関」とされている理由について，民主主義に着目して考察し，適切に表現する。	● 衆議院と参議院の違いについて，本文や資料の読み取りを通して理解している。**（知技）** ● 国会が「国権の最高機関」とされている理由について，民主主義に着目して考察し，適切に表現している。**（思判表）**
43	**2　法律や予算ができるまで** （p.92～93） 法律・予算とは 委員会と本会議 衆議院の優越	● 国会の主な仕事について，理解する。 ●「衆議院の優越」が定められている理由について，効率と公正に着目して考察し，表現する。	● 国会の主な仕事について，本文や資料の読み取りを通して理解している。**（知技）** ●「衆議院の優越」が定められている理由について，効率と公正に着目して考察し，表現している。**（思判表）**
44 45	**3　行政を監視する国会** （p.94～95） 内閣総理大臣の指名 条約の承認 国政調査権 その他の国会の仕事	● 国会と行政との関係ついて理解する。 ● 私たちと国会との関係について，考察し，表現する。	● 国会が行政権との関係の中で担っている役割について本文の読み取りを通して理解している。**（知技）** ● 私たちと国会との関係について，考察し，表現している。**（思判表）**
46	**4　行政の仕組みと内閣** （p.96～97） 行政の役割と仕組み 内閣の仕事と組織 議院内閣制	● 内閣の役割と仕組みについて理解する。 ● 日本の内閣と国会との関係について，考察し，表現する。	● 内閣の主な仕事について，本文や資料の読み取りを通して理解している。**（知技）** ● 日本の内閣と国会との関係について，考察し，表現している。**（思判表）**
47	**5　行政の役割と行政改革** （p.98～99） 行政を担当する公務員と財政 行政権の拡大 行政改革	● 行政における内閣の役割について理解する。 ● 行政改革が進められた理由について，縦割り行政などの課題を基に考察し，表現する。	● 公務員が「全体の奉仕者」と呼ばれる理由について，本文や資料の読み取りを通して理解している。**（知技）** ● 行政改革が進められた理由について，縦割り行政などの課題を基に考察し，表現している。**（思判表）**

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
48 49	**6　裁判所の仕組みと働き** （p.100～101） 法に基づく裁判 裁判所の種類 司法権の独立	● 私たちの生活における裁判の役割について理解する。 ● 司法権の独立の原則が必要な理由について，個人の尊重に着目して考察し，表現する。	● 裁判所の種類と，それぞれが行っている裁判について本文や資料の読み取りを通して理解している。（**知技**） ● 司法権の独立の原則が必要な理由について，個人の尊重に着目して考察し，表現している。（**思判表**）
50	**7　裁判の種類と人権** （p.102～103） 民事裁判 刑事裁判 裁判と人権保障	● 裁判はどのような仕組みがあるかについて理解する。 ● 裁判によって守られている人権について考察し，表現する。	● 裁判において，被疑者以外に裁判に出席する人と，それぞれの役割について，本文の読み取りを通して理解している。（**知技**） ● 裁判によって守られている人権について，2章の学習を振り返りながら考察し，表現している。（**思判表**）
51	**8　裁判員制度と司法制度改革** （p.104～105） 司法制度改革 裁判員制度 取り調べの可視化と被害者参加制度	● 裁判がより身近で公正なものになるための取り組みについて理解する。 ● 裁判員制度や取り調べの可視化が導入された理由について，個人の尊重に着目して考察し，表現する。	● 裁判員が，裁判官とともに担当する役割を，本文や資料の読み取りを通して理解している。（**知技**） ● 裁判員制度や取り調べの可視化が導入された理由について，個人の尊重に着目して考察し，表現している。（**思判表**）
52	**［みんなでチャレンジ］模擬裁判をやってみよう** （p.106～107）	● 法に基づいた論理的な思考力や，多面的・多角的な物の見方，自分の意見について根拠を挙げて表現する。 ● 主権者として，裁判員制度への参加を通して主体的に社会に関わろうとする。	● 資料を的確に読み取って必要な情報を取り出したり，争点を整理したりして，公正に判断し，その過程や結果を適切に表現している。（**思判表**） ● 主権者として，裁判員制度への参加を通して主体的に社会に関わろうとしている。（**態度**）
53	**9　三権の抑制と均衡** （p.108～109） 三権分立 三権の関係と国民 違憲審査制 探究のステップ	● 日本の三権相互の関係について理解する。 ● 三権分立が採られている理由について考察する。 ● 2 節の学習内容を基に，国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割について，また，国民の権利を守り，社会の秩序を維持するために，法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解する。 ● 2 節の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ，多面的・多角的に考察，構想し，表現する。 ● 民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとする。	● 三権がたがいに抑制し合っている内容について本文や資料の読み取りから理解している。（**知技**） ● 三権分立が採られている理由について，人権の観点から考察している。（**思判表**） ○2 節の学習内容を基に，国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割について，また，国民の権利を守り，社会の秩序を維持するために，法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。（**知技**） ○2 節の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。（**思判表**） ● 民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。（**態度**）

3 節　地方自治と私たち

◆評価規準（節全体）　　＊は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	＊
● 地方自治の基本的な考え方について理解させる。その際，地方公共団体の政治の仕組み，住民の権利や義務について理解させる。 ● 対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ，多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。 ● 民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとさせる。	○地方自治の基本的な考え方について理解している。その際，地方公共団体の政治の仕組み，住民の権利や義務について理解している。 **思考・判断・表現** ○対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 **主体的に学習に取り組む態度** ● 民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	C (2)

◆評価規準（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
54	**1　私たちの生活と地方自治** （p.110～111） 地方自治とは 国と地方公共団体の役割 地方分権	● 地方公共団体の役割について理解する。 ● 地方自治がどのような考えに基づいているか，地方自治の原則に着目して考察する。	● 地方公共団体の役割について理解している。**（知技）** ● 地方自治が「民主主義の学校」と呼ばれる理由について，地方自治の原則に着目して考察し，表現している。**（思判表）**
55 56	**2　地方自治の仕組み** （p.112～113） 地方議会 首長 直接請求権	● 地方自治の仕組みについて理解する。 ● 地方自治での二元代表制の特徴について，国の政治との違いに着目して考察し，表現する。	● 地方議会や首長が果たしている役割について，本文の読み取りを通して理解している。**（知技）** ● 地方自治での二元代表制の特徴について，国の政治との違いに着目して考察し，表現している。**（思判表）**
57	**3　地方公共団体の課題** （p.114～115） 地方財政の仕組み 地方財政の健全化 人口減少と地方創生	● 地方公共団体にはどのような課題があるかについて理解する。 ● 自分が住む地方公共団体の課題を調べ，解決のために自分にできることを考察，構想し，表現する。	● 地方公共団体の財政を支える収入について，本文や資料の読み取りを通して理解している。**（知技）** ● 自分が住む地方公共団体の課題を調べ，解決のために自分にできることを考察，構想し，表現している。**（思判表）**
58	**4　住民参加の拡大と私たち** （p.116～117） 住民の声を生かす 住民運動の広がり 地域の課題と私たち 探究のステップ	● 住民が地方公共団体の政治に参加する方法について理解する。 ● 住民の声を生かした政治を実現するために，どのような取り組みがなされるべきか考察する。 ● 3 節の学習内容を基に，地方自治の基本的な考え方や地方公共団体の政治の仕組み，住民の権利や義務について理解する。 ● 3 節の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに	● 住民が地方公共団体の政治に参加する方法について理解している。**（知技）** ● 住民参加が重要な理由について，民主主義の観点から考察している。**（思判表）** ○3 節の学習内容を基に，地方自治の基本的な考え方や地方公共団体の政治の仕組み，住民の権利や義務について理解している。**（知技）** ○3 節の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
		着目して，民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ，多面的・多角的に考察，構想し，表現する。 ● 民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとする。	じ，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。（**思判表**） ● 民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。（**態度**）
59	［みんなでチャレンジ］ 政治参加をしてみよう （p.118～119）	● 身近な地域のまちづくりに関心を持ち，地域の活動に進んで参加しようとする意欲を持つ。 ● 見学や聞き取り調査などを通して，身近な地域のまちづくりについて調べ，考えたことを提言としてまとめる。 ● 地域の課題の考察に自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，地域の担い手として主体的に社会に関わろうとする。	●「課題把握→課題探究→意思決定→提案・参加」という政治参加の流れや，地理的分野や歴史的分野で身に付けた調査の手法を参考にして，適切な方法を選択し，資料の収集・選択や調査・分析を行っている。（**知技**） ● 地域住民の一人として，地域の政治や課題について積極的に調べ，解決策を提案している。（**思判表**） ● 地域の課題の考察に自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，地域の担い手として主体的に社会に関わろうとしている。（**態度**）
60	■基礎・基本のまとめ　第３章の学習をふり返ろう （p.121） ■まとめの活動　Ｓ 市の市長になって条例を作ろう （p.122～123）	● 第３章の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察，構想し，表現する。 ● 民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとする。	○第 3 章の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。（**思判表**） ○民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。（**態度**）
－	［もっと公民］東日本大震災からの復興と防災―仙台市を例に考える （p.124～125） 仙台市の被害の状況 仙台市の復興計画 仙台市の防災対策 復興を支え合うつながり	● 東日本大震災からの復興について社会の担い手として持続可能な社会づくりに向けて，主体的に社会に関わろうとする。 ● 東日本大震災で被害を受けた地方公共団体が，復興と防災に向けてどのような取り組みを行っているか考察する。	● 防災や減災を踏まえたまちづくりの実現を目指して，解決すべき課題を探究し，自分たちにできることは何か考察している。（**思判表**） ● 東日本大震災からの復興と防災対策に関心を持ち，その実現のために各地方公共団体が行っている取り組みや課題について調べることを通して，主体的に社会に関わろうとしている。（**態度**）
－	［もっと公民］空き家・廃校は新たな資源 （p.126） 全国で増える空き家や廃校 空き家や廃校もアイディア次第でよみがえる	● 空き家や廃校の増加という実社会における課題を理解する。 ● 空き家や廃校の増加という実社会における課題の解決策を効率と公正などに着目して考察する。 ● 空き家や廃校の増加という実社会における課題の考察を通して，主体的に社会に関わろうとす	● 空き家や廃校の増加という実社会における課題を理解している。（**知技**） ● 空き家や廃校の増加という実社会における課題の解決策を効率と公正などに着目して考察する。（**思判表**） ● 空き家や廃校の増加という実社会における課題の考察を通して，主体的に社会に関わろうとする。（**態度**）

公民－32

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
		る。	

第４章　私たちの暮らしと経済

◆評価規準（章全体）

指導目標	知識・技能
● 身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解させる。 ● 市場経済の基本的な考え方について理解させる。その際，市場における価格の決まり方や資源の配分について理解させる。 ● 現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解させる。 ● 勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解させる。 ● 対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，個人や企業の経済活動における役割と責任や，社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について，多面的・多角的に考察し，表現させる。 ● 市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 ● 社会資本の整備，公害の防止など環境の保全，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，消費者の保護について，それらの意義を理解させる。 ● 財政及び租税の意義，国民の納税の義務について理解させる。 ● 対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して国や地方公共団体が果たす役割や，財政及び租税の役割について，多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。 ● 国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとさせる。	○身近な消費生活を中心に，経済活動の意義について理解している。 ○市場経済の基本的な考え方について理解している。その際，市場における価格の決まり方や資源の配分について理解している。 ○現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。 ○勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。 ○社会資本の整備，公害の防止など環境の保全，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，消費者の保護について，それらの意義を理解している。 ○財政及び租税の意義，国民の納税の義務について理解している。
	思考・判断・表現
	○対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，個人や企業の経済活動における役割と責任や，社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について，現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりしている。 ○対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して国や地方公共団体が果たす役割や，財政及び租税の役割について，現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察，構想したり，社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりしている。
	主体的に学習に取り組む態度
	○市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して，自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。 ○国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して，自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。

1節　消費生活と市場経済

◆評価規準（節全体）　　＊は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	＊
● 事例や統計資料などを収集・選択し，読み取る学習を通して，身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解させる。 ● 対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目し，消費生活や流通に関する様々な事例を基に，個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し，表現させる。 ● 身近な事例の提示や，シミュレーションなどの活動を通して，市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとさせる。	○事例や統計資料などを収集・選択し，読み取る学習を通して，身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。	B (1) (2)
	思考・判断・表現	
	○対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，消費生活や流通に関する様々な事例を基に，個人や企業の経済活動における役割と責任について現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりしている。	
	主体的に学習に取り組む態度	
	● 身近な事例の提示や，シミュレーションなどの活動を通して，市場の働きと経済について理解し，現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して，自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	

◆評価規準（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
61	■章扉 （p.127） ■導入の活動　コンビニエンスストアの経営者になってみよう （p.128～129）	● シミュレーションなど課題解決学習を通して，私たちと経済との関わりについての考察に向けて，章の学習の見通しを持って取り組もうとする。 ● コンビニエンスストアの立地について，経済活動における限られた資源の選択の下，経営者や消費者などの立場から多面的・多角的に考察し，表現する。	● コンビニエンスストアの立地について考えるシミュレーションなど課題解決学習を通して，私たちと経済との関わりについての考察に向けて，章の学習の見通しを持って取り組もうとしている。（**態度**） ● コンビニエンスストアの立地について，経営者や消費者，労働者の立場から多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。（**思判表**） ● コンビニエンスストアの立地について具体的な事例を整理し，自らの考えとともに表（マトリックス）にまとめている。（**知技**） ● 私たちと社会との関わりについて対話的な活動を通して効率と公正等に着目して，適切に表現している。（**思判表**） ● 私たちの経済への関わりについての考察に，章の学習の見通しを持って取り組もうとしている。（**態度**）
62	1　私たちの消費生活 （p.130～131） 私たちの消費生活と経済 家計の収入と支出 希少性とは 商品の選択とより良い消費生活	● 私たちの消費生活と経済との関わりについて理解する。 ● より良い消費生活を送るために必要なことについて考察，表現する。	● 私たちが日常生活の中でしている消費活動について理解している。（**知技**） ● より良い消費生活を送るために必要なことについて考察，表現している。（**思判表**）
63	2　契約と消費生活 （p.132～133） 消費者主権	● 消費者にとって契約とは何かを理解する。 ● 契約を結ぶ際に注意すべき点に	● 消費者主権とはどのようなことを意味しているか，本文の読み取りを通して，理解している。（**知技**）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
	契約と消費生活 消費者問題の発生	ついて，自由や義務に着目して考察し，表現する。	● 契約を結ぶ際に注意すべき点について，自由や義務に着目して考察し，表現している。（思判表）
64	**3　消費者の権利を守るために** （p.134～135） 消費者の権利 日本の消費者問題への対応 自立した消費者	● 消費者に保障されている権利や果たすべき責任について理解する。 ● 自立した消費者であるためにはどうすべきか考察し，表現する。	● 消費者の権利を守るための制度や法律について，本文の読み取りを通して理解している。（知技） ● 自立した消費者であるためにはどうすべきか，判断や責任に着目して考察し，表現している。（思判表）
65	**[18 歳へのステップ] 契約のあれこれ** （p.136～137）	● 身近な消費生活にある契約の事例を基に，より良い消費者の在り方を考察する。 ● 様々な契約の事例や決済方法を知ることを通して，より良い消費生活を目指す意識を持つ。	● 身近な消費生活にある契約の事例を基に，これまでの学習を振り返りながら消費者の在り方を多面的・多角的に考察している。（思判表） ● 消費者の一人として，契約を結ぶ際の注意点に関心を持ち，より良い消費生活に向けて主体的に社会に関わろうとしている。（態度）
66	**4　消費生活を支える流通** （p.138～139） 商品が消費者に届くまで 商業の役割 流通の合理化	● 商品がどのように消費者の元に届くか，仕組みについて理解する。 ● 流通の合理化がもたらす影響について考察する。 ● 1節の学習内容を基に，身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解する。 ● 1節の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目し，消費生活や流通に関する様々な事例を基に，個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し，表現する。 ● 市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとする。	● 身近な地域にある，流通に関連した仕事について理解している。（知技） ● 流通の合理化がもたらす影響について考察している。（思判表） ○1節の学習内容を基に，身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。（知技） ○1節の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目し，消費生活や流通に関する様々な事例を基に，個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し，表現している。（思判表） ● 市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。（態度）

2 節　生産と労働

◆評価規準（節全体）　　＊は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	＊
● 現代の生産などの仕組みや働き，勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解させる。 ● 対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察させ，表現させる。 ● 市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとさせる。	○現代の生産などの仕組みや働き，勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。	B (1) (2)
	思考・判断・表現	
	○対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりしている。	
	主体的に学習に取り組む態度	
	● 市場の働きと経済について理解し，現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して，自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	

◆評価規準（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
67	**1　生産活動と企業** （p.140～141） 分業と交換 企業の生産活動と資本主義経済 技術革新と知的資源	● 私たちの生活に必要なものはどのように生産されているか理解する。 ● 身近にある財やサービスの生産における分業と交換の良い点を，効率の観点から考察し，表現する。	● 私たちが日常生活の中で消費している財やサービスについて調べ，まとめている。（**知技**） ● 身近にある財やサービスの生産における分業と交換の良い点を，効率の観点から考察し，表現している。（**思判表**）
68	**2　企業の種類** （p.142～143） 私企業と公企業 大企業と中小企業 起業とベンチャー企業 企業の社会的責任	● 企業にはどのような種類があるかについて理解する。 ● 自分が起業するとしたら，どのような企業を創るか，企業の社会的責任に着目して，具体的な事例を基に考察し，表現する。	● 情報を適切に収集・選択し，読み取る学習を通して，身近な地域にある様々な企業について調べ，まとめている。（**知技**） ● 起業する場合どのような企業を創るのが良いか，企業の社会的責任に着目して考察し，表現している。（**思判表**）
69 70	**3　株式会社の仕組み** （p.144～145） 株式とは 株式会社の仕組み 株価の変動	● 株式会社の仕組みについて理解する。 ● 株主の権利や責任について，配当や投資と関連付けて，考察し，表現する。	● 株式とはどのようなものか理解している。（**知技**） ● 株主の権利や責任について，配当や投資と関連付けて考察し，表現している。（**思判表**）
71	**4　労働の意義と労働者の権利** （p.146～147） 労働の意義 労働者の権利 ワーク・ライフ・バランスの実現	● 労働者の権利を守るための取り組みについて理解する。 ● 多様な働き方が求められている背景を，個人の尊重の観点から考察し，表現する。	● 労働者の権利について本文から読み取る学習を通して理解している。（**知技**） ● 多様な働き方が求められている背景を，個人の尊重の観点から考察し，表現している。（**思判表**）
72	**5　労働環境の変化と課題** （p.148～149） 多様化する労働の在り方 非正規労働者の増加への対応	● 労働をめぐる環境の違いについて理解する。 ● 労働環境の変化と課題について考察し，表現する。 ● 2 節の学習内容を基に，現代の	● 正規労働者と非正規労働者の違いについて理解している。（**知技**） ● 労働環境の課題を解決し，いきいきと働ける社会の実現に向けて考察し，表現している。（**思判表**）

公民－37

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
	外国人労働者 いきいきと働ける社会の実現	生産などの仕組みや働き，勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。 ● 2節の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し，表現する。 ● 市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとする。	○2 節の学習内容を基に，現代の生産などの仕組みや働き，勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。（**知技**） ○2 節の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し，表現している。（**思判表**） ● 市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。（**態度**）

3節　市場経済の仕組みと金融

◆評価規準（節全体）　　＊は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	＊
● 市場経済の基本的な考え方について理解させる。その際，市場における価格の決まり方や資源の配分について理解させる。 ● 現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解させる。 ● 対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目させ，個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察させ，表現させる。 ● 市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとさせる。	○市場経済の基本的な考え方について理解している。その際，市場における価格の決まり方や資源の配分について理解している。 ○現代の金融などの仕組みや働きを理解している。	B (1)
	思考・判断・表現	
	○対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，個人や企業の経済活動における役割と責任について現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりしている。	
	主体的に学習に取り組む態度	
	● 市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して，自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	

◆評価規準（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
73	**1　市場経済と価格の決まり方** （p.150～151） 市場経済とは 需要・供給と価格との関係	● 市場経済における価格の決定について理解する。 ● 希少性に着目して，それと価格との関係について，需要量と供給量を関連付けながら，表現する。	● 需要量と供給量とはどのようなことを意味しているかについて理解している。（**知技**） ● 希少性と価格との関係について，需要量と供給量を関連付けながら考察，表現している。（**思判表**）
74	**2　価格の働き** （p.152～153） 市場経済における価格の働き 独占価格 公共料金	● 市場経済における価格の働きについて理解する。 ● 市場経済において価格が果たしている役割を，効率の観点から適切に表現する。	● 公共料金が定められている理由について，本文から読み取る学習を通して，理解している。（**知技**） ● 市場経済において価格が果たしている役割を，効率に着目して考察し，表現している。（**思判表**）
75	**3　貨幣の役割と金融** （p.154～155） 貨幣の役割 お金の貸し借りと金融 金融の方法と働き	● 身近な事例を基に，貨幣の役割や金融の働きについて理解する。 ● 直接金融と間接金融の違いについて，株式や金融機関を関連付けながら，適切に表現する。	● 貨幣の役割や金融の働きについて，本文から読み取る学習を通して，理解している。（**知技**） ● 直接金融と間接金融の違いについて，株式や金融機関を関連付けながら，表現している。（**思判表**）
76	**4　私たちの生活と金融機関** （p.156～157） 銀行の仕組みと働き 預金通貨 日本銀行の役割	● 私たちの生活で銀行が果たす役割について理解する。 ● 私たちの生活と銀行の関係について，銀行の役割に着目して，具体的な事例を基に多面的・多角的に考察し，表現する。	● 日常生活の中で使っている支払いの方法について，本文から読み取る学習を通して，理解している。（**知技**） ● 私たちの生活と銀行の関係について，銀行の役割に着目して，具体的な事例を基に考察し，表現している。（**思判表**）
77	**5　景気と金融政策** （p.158～159） 景気とは 戦後の日本経済 日本銀行の金融政策	● 景気変動に対してどのような取り組みがなされているかについて理解する。 ● 景気の変動に対して，どのような取り組みがなされているのかに	● 好景気や不景気がどのような状態か，本文から読み取る学習を通して，理解している。（**知技**） ● 景気の変動に対して，どのような取り組みがなされているのかについて，日本銀行の金

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
		ついて，日本銀行の金融政策と景気を関連付けながら考察し，表現する。	融政策と景気を関連付けながら考察し，表現している。（**思判表**）
78	**6　グローバル経済と金融** （p.160～161） 貿易と経済のグローバル化 為替相場 グローバル経済と金融 探究のステップ	● 経済や金融のグローバル化について理解している。 ● 経済や金融のグローバル化が私たちの生活にどのような影響を与えているか考察する。 ● 3 節の学習内容を基に，市場経済の基本的な考え方について理解する。その際，市場における価格の決まり方や資源の配分について理解する。 ● 3 節の学習内容を基に，現代の生産や金融などの仕組みや働きについて理解する。 ● 3 節の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目し，個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察，表現する。 ● 市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとする。	● 円高，円安とはどのような状態か理解している。（**知技**） ● 商品の価格が円高，円安によってどのように変動するか考察している。（**思判表**） ○3 節の学習内容を基に，市場経済の基本的な考え方について理解している。その際，市場における価格の決まり方や資源の配分について理解している。（**知技**） ○3 節の学習内容を基に，現代の生産や金融などの仕組みや働きについて理解している。（**知技**） ○3 節の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目し，個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し，表現している。（**思判表**） ● 市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。（**態度**）

4節　財政と国民の福祉

◆評価規準（節全体）　　＊は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	＊
● 社会資本の整備，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，消費者の保護について，それらの意義を理解させる。 ● 財政及び租税の意義，国民の納税の義務について理解させる。 ● 対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目させ，市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して，国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。 ● 対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目させ，財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し，表現させる。 ● 国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとさせる。	○社会資本の整備，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，消費者の保護について，それらの意義を理解している。 ○財政及び租税の意義，国民の納税の義務について理解している。	B (2)
	思考・判断・表現	
	○対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目し，市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して，国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ○対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目し，財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し，表現している。	
	主体的に学習に取り組む態度	
	● 国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して，自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	

◆評価規準（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
79	**1　私たちの生活と財政** （p.162～163） 財政の仕組み さまざまな税金 税金の公平性	● 私たちが納める税金の種類や仕組みについて，理解する。 ● 公正の観点から税金の負担について考察する。	● 私たちが日常生活の中で納めている税金について理解している。（**知技**） ● 憲法で，国民に納税の義務がある理由について，税金の役割に着目して考察し，表現している。（**思判表**）
80	**2　財政の役割と課題** （p.164～165） 市場経済と政府 財政政策 公債の発行 これからの財政	● 身近な社会資本や公共サービスについて調べ，政府が果たしている経済的な役割と課題を理解する。 ● 政府の財政政策と景気との関係について，公共投資や民間企業と関連付けながら考察し，表現する。	● 公共サービスは，どこがどのように提供しているか，本文から読み取る学習を通して，理解している。（**知技**） ● 政府の財政政策と景気との関係について，公共投資や民間企業と関連付けながら考察し，表現している。（**思判表**）
81 82	**3　社会保障の仕組み** （p.166～167） 社会保障の役割とおこり 日本の社会保障の四つの柱	● 我が国の社会保障制度の仕組みについて理解する。 ● 社会保障の基本的な考え方と日本の社会保障制度のあらましを理解したうえで，これからの社会保障制度について，持続可能性の観点から考察し，表現する。	● 私たちが日常生活の中で利用している社会保障制度について理解している。（**知技**） ● 社会保障の基本的な考え方と日本の社会保障制度のあらましを理解したうえで，これからの社会保障制度について，持続可能性の観点から考察し，表現している。（**思判表**）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
83 84	**4　少子高齢化と財政** （p.168～169） 少子高齢化と社会保障 社会保険の課題 福祉社会の実現に向けて	● 少子高齢化の財政への影響について理解している。 ● 少子高齢社会における社会保障制度の充実と経済成長の両立が難しい理由を，増税の影響に着目して考察し，表現する。 ● 4 節の学習内容を基に， 社会資本の整備，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，消費者の保護について，それらの意義を理解する。 ● 4 節の学習内容を基に， 財政及び租税の意義，国民の納税の義務について理解する。 ● 4 節の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目し，市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して，国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察し，表現する。 ● 4 節の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目し，財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し，表現する。 ● 国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとする。	● 現役世代が納める保険料の負担が大きくなっている理由について理解している。**（知技）** ● 社会保障制度の充実と経済成長との両立が難しい理由を増税の影響に着目して考察している。**（思判表）** ○4 節の学習内容を基に， 社会資本の整備，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，消費者の保護について，それらの意義を理解している。**（知技）** ○4 節の学習内容を基に， 財政及び租税の意義，国民の納税の義務について理解している。**（知技）** ○4 節の学習内容を振り返って， 対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目し，市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して，国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察し，表現している。**（思判表）** ○4 節の学習内容を振り返って， 対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目し，財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し，表現している。**（思判表）** ● 国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。**（態度）**
※	**租税教育**	● 租税に関する資料や「税の作文」の課題に取り組むことを通して，税を通して社会について主体的に考え，民主主義の理解や社会参画の意識を育む。	● 税の役割や税を通して社会について主体的に考え，主体的に社会に関わろうとしている。**（態度）**

5 節　これからの経済と社会

◆評価規準（節全体）　　＊は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	＊
● 公害の防止など環境の保全について，その意義を理解させる。 ● 対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目させ，市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して，国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。 ● 国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとさせる。	○公害の防止など環境の保全について，その意義を理解している。	B (2)
	思考・判断・表現	
	○対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目し，市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して，国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。	
	主体的に学習に取り組む態度	
	● 国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して，自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	

◆評価規準（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
85	**1　公害の防止と環境の保全** （p.170～171） 公害の発生 公害対策の進展 新たな公害と地球環境問題 循環型社会に向けて	● 環境保全と経済成長の両立のためになされている取り組みについて理解する。 ● 循環型社会を実現し，環境を保全するためにどうすべきか，持続可能性の観点から，自分事として考察し，表現する。	● 四大公害病の経緯や地球環境問題，それらを防止するための住民や国，地方公共団体，企業の取り組みについて，具体的な事例を通して理解している。**（知技）** ● 循環型社会を実現し，環境を保全するためにどうすべきか，持続可能性の観点から，自分事として考察し，表現している。**（思判表）**
86	**2　経済の持続可能性と真の豊かさ** （p.172～173） 経済成長と豊かさ 地域の持続可能な発展 住民が中心のまちづくり 探究のステップ	● 経済的な豊かさの基準にどのようなものがあるか理解する。 ● 持続可能な社会を創るために，経済はどのような役割を果たすべきか，豊かさに着目して多面的・多角的に考察，構想し，議論する。 ● 5 節の学習内容を基に，公害の防止など環境の保全について，その意義を理解する。 ● 5 節の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目し，市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して，国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現する。 ● 国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとする。	● 経済的な豊かさの基準にどのようなものがあるか理解している。**（知技）** ● これからの社会に必要な豊かさについて考察している。**（思判表）** ○5 節の学習内容を基に，公害の防止など環境の保全について，その意義を理解している。**（知技）** ○5 節の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目し，市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して，国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。**（思判表）** ● 国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。**（態度）**
8	**■基礎・基本のまとめ　第 4 章**	● 第 4 章の学習内容を振り返って，	○第 4 章の学習内容を振り返って，対立と合

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
	の学習をふり返ろう （p.175） **■まとめの活動　コンビニエンスストアのお弁当を企画しよう** （p.176～177）	経営者の視点や，効率と公正などの観点に着目して多面的・多角的に考察，構想し，企画書に自分の考えを表現する。 ● お弁当の企画書を作成する活動から第 4 章の学習内容を振り返り，「これからの社会で，私たちはどのようにして経済に関わっていくべきか」を考察することを通して，主体的に社会に関わろうとする。	意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，個人や企業の経済活動における役割と責任や，社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。**（思判表）** ○第 4 章の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して国や地方公共団体が果たす役割や，財政及び租税の役割について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。**（思判表）** ○市場の働きと経済や，国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。**（態度）**
－	**［もっと公民］公害のない社会へ―水俣市を例に考える** （p.178） 水俣病とは？ 新しい都市づくりへ 教訓を世界へ	● 水俣市の事例を基に，環境保全を通して都市発展を目指す取り組みがあることについて調べ，それらを理解する。 ● 水銀に関する水俣条約を基に，持続可能性の観点からこれからの環境保全について多面的・多角的に考察し，表現する。	● 水俣市の事例を基に，公害の原因と被害，公害の克服について調べる学習を通して，それらを理解している。**（知技）** ● 水銀に関する水俣条約を基に，持続可能性の観点からこれからの環境保全について多面的・多角的に考察し，表現している。**（思判表）**

第５章　地球社会と私たち

◆評価規準（章全体）

指導目標	知識・技能
● 世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには，国際協調の観点から，国家間の相互の主権の尊重と協力，各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解させる。その際，領土（領海，領空を含む。），国家主権，国際連合の働きなど基本的な事項について理解させる。 ● 地球環境，資源・エネルギー，貧困などの課題の解決のために経済的，技術的な協力などが大切であることを理解させる。 ● 対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，日本国憲法の平和主義を基に，我が国の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。 ● 世界平和と人類の福祉の増大について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとさせる。	○世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには，国際協調の観点から，国家間の相互の主権の尊重と協力，各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。その際，領土（領海，領空を含む。），国家主権，国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。 ○地球環境，資源・エネルギー，貧困などの課題の解決のために経済的，技術的な協力などが大切であることを理解している。
	思考・判断・表現
	○対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，日本国憲法の平和主義を基に，我が国の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度
	○世界平和と人類の福祉の増大について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く学習に取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。

1節　国際社会の仕組み

◆評価規準（節全体）　　＊は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	＊
● 世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには，国際協調の観点から，国家間の相互の主権の尊重と協力，国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解させる。その際，領土（領海，領空を含む。），国家主権，国際連合の働きなど基本的な事項について理解させる。 ● 対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，日本国憲法の平和主義を基に，我が国の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。 ● 世界平和と人類の福祉の増大について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとさせる。	○世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには，国際協調の観点から，国家間の相互の主権の尊重と協力，国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。 ○領土（領海，領空を含む。），国家主権，国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。	D (1)
	思考・判断・表現	
	○対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，日本国憲法の平和主義を基に，我が国の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。	
	主体的に学習に取り組む態度	
	● 世界平和と人類の福祉の増大について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	

◆評価規準（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
88	**■章扉** （p.179） **■導入の活動　SDGs から地球規模の課題についてとらえよう** （p.180～181）	● 諸課題に対して SDGs の目指すゴールと関連付けてまとめる。 ● 地球規模の課題について対話的な活動を通して持続可能性に着目して考察し，表現する。 ● 地球規模の課題の解決にむけて，章の学習に見通しを持って取り組もうとする。	● SDGs の理解を基に，地球規模の課題について具体的な事例を整理し，自らの考えとともに表（マトリックス）やダイヤモンドランキングにまとめている。**（知技）** ● 地球規模の課題について対話的な活動を通して持続可能性に着目して，適切に表現している。**（思判表）** ● 地球規模の課題の解決にむけて，章の学習に見通しを持って取り組もうとしている。**（態度）**
89	**1　国際社会における国家** （p.182～183） 国家とは 国旗と国歌 国際法の役割と国際協調	● 国際社会において国家がたがいに尊重し合うものについて理解する。 ● 国際法が国際社会の中で重要な理由について，協調に着目して考察する。	● 国家の三つの要素のうちの領域と主権がどのようなものか，本文や資料の読み取りを通して理解している。**（知技）** ● 国際法が国際社会の中で重要な理由について，協調に着目して考察している。**（思判表）**
90	**2　領土をめぐる問題の現状問題の解決に向けて** （p.184～185） 日本が直面している問題 竹島問題の経緯と取り組み 北方領土問題の経緯と取り組み 尖閣諸島への対応	● 竹島，北方領土，尖閣諸島をめぐる問題の解決に向けた取り組みについて理解する。 ● 日本の領土をめぐる問題の現状を理解し，日本の外交上の課題について考察する。	● 竹島，北方領土，尖閣諸島をめぐる問題の起こった経緯や現状を本文や資料の読み取りを通して理解している。**（知技）** ● 地理や歴史での学習をふまえて，領土問題の解決策について考察し，表現している。**（思判表）**
91	**3　国際連合の仕組みと役割** （p.186～187） 平和の実現のための国際連合	● 国際連合の仕組みや活動について，総会，安全保障理事会，UNESCO，UNICEF などの具体	● 国際連合の目的と，その目的を実現するための組織や活動について，調べる活動を通して理解している。**（知技）**

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
	国際連合の仕組み 国際連合の役割	的な活動を通して理解する。 ● 国際連合の役割と抱えている課題について，様々な資料を基に考え，話し合う。	● 国際連合の活動に対する日本の役割について，国連の役割に着目して考察し，表現している。（**思判表**）
92	**4　地域主義の動き** （p.188～189） グローバル化と地域主義 世界の地域主義の動き 地域主義の課題	● 地域主義の動きについて，EU や TPP などの具体的な事例を通して理解する。 世界の様々な地域主義の動きが強くなってきている理由について考察する。	● EU を例に地域主義の中で進んでいる結びつきの内容について本文や資料の読み取りを通して理解している。（**知技**） ● 地域主義で国際協力の体制が作られることの利点と課題について考察し，表現している。（**思判表**）
93	**5　新興国の台頭と経済格差** （p.190～191） 南北間の経済格差 新興国の台頭と南南問題 自立した経済発展を目指して 探究のステップ	● 新興国の台頭などの国際関係の変化について，理解する。 ● 世界の国々の間に経済格差が生まれる理由について考察する。 ● 1節の学習内容を基に，世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには，国際協調の観点から，国家間の相互の主権の尊重と協力，国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解する。 ● 1節の学習内容を基に，領土（領海，領空を含む。），国家主権，国際連合の働きなど基本的な事項について理解する。 ● 1節の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，日本国憲法の平和主義を基に，我が国の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現する。 ● 世界平和と人類の福祉の増大について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとする。	● 南北問題と南南問題について理解している。（**知技**） ● 発展途上国に求められる援助について持続可能性の観点から考察している。（**思判表**） ○1節の学習内容を基に，世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには，国際協調の観点から，国家間の相互の主権の尊重と協力，国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。（**知技**） ○1節の学習内容を基に，領土（領海，領空を含む。），国家主権，国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。（**知技**） ○1節の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，日本国憲法の平和主義を基に，我が国の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。（**思判表**） ● 世界平和と人類の福祉の増大について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。（**態度**）

2 節　さまざまな国際問題

◆評価規準（節全体）　　＊は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	＊
● 地球環境，資源・エネルギー，貧困などの課題の解決のために経済的，技術的な協力などが大切であることを理解させる。 ● 対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，日本国憲法の平和主義を基に，我が国の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。 ● 世界平和と人類の福祉の増大について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとさせる。	○地球環境，資源・エネルギー，貧困などの課題の解決のために経済的，技術的な協力などが大切であることを理解している。	D (1)
	思考・判断・表現	
	○対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，日本国憲法の平和主義を基に，我が国の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。	
	主体的に学習に取り組む態度	
	● 世界平和と人類の福祉の増大について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	

◆評価規準（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
94	**1　地球環境問題** （p.192～193） 危機的な地球環境 地球温暖化と気候変動 国際社会の取り組み 地球環境問題の解決に向けて	● 地球にはどのような環境問題があるか理解する。 ● 様々な地球環境問題の解決のための国際協力について，協調に着目して考察する。	● 地球温暖化が起こっている理由について，本文や資料の読み取りを通して理解している。（**知技**） ● 地球環境問題の解決のために重要なことを，協調の観点から考察し，表現している。（**思判表**）
95	**2　資源・エネルギー問題　限りある資源と環境への配慮** （p.194～195） 限りある資源 日本のエネルギー消費の状況 これからの日本のエネルギー	● 世界のエネルギーにどのような課題があるか理解する。 ● 日本のエネルギーの供給・消費の現状について理解し，これからの日本のエネルギーの在り方について考える。	● 化石燃料をエネルギーの中心として使うことの問題点について理解している。（**知技**） ● 世界のエネルギー問題の解決に向けて，日本が果たすべき役割について持続可能性の観点から考察し，表現している。（**思判表**）
－	**［もっと公民］これからの日本のエネルギーを考える** （p.196～197） 戦後日本のエネルギー政策 原発事故の影響とエネルギー政策の見直し 世界のエネルギー政策 これからの日本のエネルギー	● 戦後日本のエネルギー政策と福島第一原子力発電所事故後のエネルギーの在り方をめぐる議論について理解する。 ● これからの日本のエネルギー政策はどうあるべきか考える。	● これからの日本のエネルギー政策について，日本の政治・経済・社会の現状や，世界との比較を踏まえて，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。（**思判表**） ● 日本のエネルギー政策についての学習を通して，主体的に社会に関わろうとしている。（**態度**）
96	**3　貧困問題　公正な世界を創る** （p.198～199） 人口の急増と貧困 世界の貧困問題 途上国の人々の自立に向けて	● 人口増加や食料供給の偏りなど様々な要因が重なり合って貧困問題が発生していることについて理解し，その解決策を考える。 ● 貧困問題の解決に向けてどのような取り組みが必要か考察する。	● 貧困が起こる理由について，本文や資料の読み取りを通して理解している。（**知技**） ● 貧困や飢餓の問題を解決するために，自分にできることを効率と公正の観点から考察し，表現している。（**思判表**）
97	**4　新しい戦争　平和な世界に向けて** （p.200～201） 地域紛争 テロリズム	● 地域紛争やテロリズムが起こっていることを理解し，その背景について考える。 ● 戦争のない世界を実現するためにどのような取り組みが必要か，	● 地域紛争を，「新しい戦争」と呼ぶ理由について，これまでの戦争との違いから理解している。（**知技**） ● 戦争のない世界を実現するために必要な取り組みを協調の観点から考察し，構想し

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
	戦争のない世界を目指す取り組み	協調の観点から考察する。	ている。（思判表）
98	**5　難民問題** （p.202～203） 二度の世界大戦と難民 難民を生みだすさまざまな要因 難民問題の解決に向けて 探究のステップ	● 難民問題とはどのようなものか理解する。 ● 難民問題の解決に向けて必要なことを考察し，表現する。 ● 2 節の学習内容を基に，地球環境，資源・エネルギー，貧困などの課題の解決のために経済的，技術的な協力などが大切であることを理解する。 ● 2 節の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，日本国憲法の平和主義を基に，我が国の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現する。 ● 世界平和と人類の福祉の増大について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとする。	● 難民とはどのような人々のことを指すか，理解している。（知技） ● 難民問題の解決に必要な取り組みについて，協調や持続可能性の観点から考察している。（思判表） ○2 節の学習内容を基に，地球環境，資源・エネルギー，貧困などの課題の解決のために経済的，技術的な協力などが大切であることを理解している。（知技） ○2 節の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，日本国憲法の平和主義を基に，我が国の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。（思判表） ● 世界平和と人類の福祉の増大について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。（態度）

3 節　これからの地球社会と日本

◆評価規準（節全体）　　＊は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	＊
● 世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには，国際協調の観点から，各国民の相互理解と協力が大切であることを理解させる。 ● 対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，日本国憲法の平和主義を基に，我が国の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。 ● 世界平和と人類の福祉の増大について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとさせる。	○世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには，国際協調の観点から，各国民の相互理解と協力が大切であることを理解している。	D (1)
	思考・判断・表現	
	○対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，日本国憲法の平和主義を基に，我が国の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。	
	主体的に学習に取り組む態度	
	● 世界平和と人類の福祉の増大について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	

◆評価規準（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
99	**1　世界と協力する日本** （p.204～205） 日本の平和主義と国際貢献 日本の外交政策	● 日本の国際貢献について，途上国の開発や国際協力の面から理解している。 ● これからの国際社会で日本が果たすべき役割について考察する。	● 日本の国際貢献について，本文や資料の読み取りを通して途上国の開発や国際協力の面から理解している。**（知技）** ● これからの国際社会で日本が果たすべき役割について考察し，表現している。**（思判表）**
100	**2　より良い地球社会を目指して** （p.206～207） 地球社会の多様性 多様性の尊重 持続可能な社会のために 探究のステップ	● 世界の文化の多様性について理解する。 ● 持続可能な社会を創り，地球上の全ての人がより良い生活を送るために必要なことを考察，構想し，表現する。 ● 3 節の学習内容を基に，世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには，国際協調の観点から，各国民の相互理解と協力が大切であることを理解する。 ● 3 節の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，日本国憲法の平和主義を基に，我が国の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現する。 ● 世界平和と人類の福祉の増大について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとする。	● 多様性を尊重しないことで起こっている課題について本文や資料の読み取りを通して理解している。**（知技）** ● 世界平和の実現のために自分にできることを持続可能性の観点から考察，構想している。**（思判表）** ○3 節の学習内容を基に，世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには，国際協調の観点から，各国民の相互理解と協力が大切であることを理解している。**（知技）** ○3 節の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，日本国憲法の平和主義を基に，我が国の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。**（思判表）** ● 世界平和と人類の福祉の増大について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。**（態度）**

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
101	■基礎・基本のまとめ　第５章の学習をふり返ろう （p.209） ■まとめの活動　はちみつの争い （p.210～211）	● 第５章の学習内容を振り返って，架空の国際問題の解決策について考えることを通して，国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現する。 ● 世界平和と人類の福祉の増大について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとする。	○第 5 章の学習内容を振り返って，対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，日本国憲法の平和主義を基に，我が国の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。（思判表） ○世界平和と人類の福祉の増大について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。（態度）
－	［もっと公民］パレスチナ問題と中東和平 （p.212） パレスチナ問題の歴史的背景 イスラエルの建国 遠い中東和平の実現	● パレスチナ問題の原因について，歴史的経過を踏まえて理解する。 ● 現代の中東問題の根本にパレスチナ問題があることに気付き，和平への道について考察する。	● 本文や年表などを基に，パレスチナ問題の歴史的経過について理解している。（知技） ● パレスチナ問題を通して，中東和平と国際平和の実現について考察している。（思判表）

終章　より良い社会を目指して

◆評価規準（章全体）　　＊は学習指導要領との関連

指導目標	知識・技能	＊
● 社会的な見方・考え方を働かせ，私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察，構想し，自分の考えを説明，論述させる。 ● 私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く学習に取り組み，主体的に社会に関わろうとさせる。	○持続可能な社会の考えについて，これまでの公民的分野での学習を踏まえて，理解を深めている。 ○環境・エネルギー，人権・平和，伝統・文化，防災・安全，情報・技術などに関わる課題を解決することが，持続可能な社会の形成に必要であることを理解している。	D (2)
	思考・判断・表現	
	○社会的な見方・考え方を働かせ，私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察，構想し，自分の考えを説明，論述している。	
	主体的に学習に取り組む態度	
	○私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く学習に取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	

◆評価規準（各時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
102-105	1　持続可能な社会の形成者として （p.214）	● 持続可能な社会を実現するためには，様々な社会の課題を解決することが必要であることを理解する。 ● 地理的分野，歴史的分野，公民的分野の３年間の社会科学習を振り返り，持続可能な社会の形成者として解決すべき課題の考察に，章の学習の見通しを持って取り組もうとする。	● 持続可能な社会を実現するためには，様々な社会の課題を解決することが必要であることを理解している。（知技） ● 持続可能な社会の形成者として解決すべき課題の考察に，章の学習の見通しを持って取り組もうとしている。（態度）
	2　持続可能な社会を実現するために （p.215～217）	● 持続可能な社会を実現するための解決すべき社会の課題にはどのようなものがあるか確認し，理解する。 ● 社会科のまとめとして適した探究課題を設定し，様々な方法で考察する。 ● 社会の課題を解決するために自分には何ができるか考え，その解決策を提案することを通して，社会に参画しようとする。 ● レポートの構成やレポート作成の基本的な約束事に従いレポートを作成する。	［探究課題の設定］ ● 環境・エネルギー，人権・平和，伝統・文化，防災・安全，情報・技術などに関わる課題を解決することが，持続可能な社会の形成に必要であることを理解している。（知技） ● これまでの社会科の学習を振り返りながら，持続可能な社会の実現に向けて探究するうえで適切な探究課題を設定している。（思判表） ● 社会の課題を解決するために自分には何ができるか考え，その解決策を提案することを通して，社会に参画しようとしている。（態度） ［資料の収集・中間発表・議論］ ● 設定した探究課題に適した資料を適切に収集し，レポート作成に必要な情報を選択している。（知技） ● 選択した情報を活用して，レポートの構成や内容について構想している。（思判表） ● 他の生徒から意見をもらったり，他の生徒の発表と自分の発表を比較したりしながら，見直しを行っている。（思判表） ［レポートの作成・完成］ ● レポートが「探究課題」「課題設定の理由」「探究の方法」「探究の内容」「探究のまとめと構想」「参考資料」の六つで構成されることを理解し，これに基づいてレポートを作成している。（知技）
	3　探究を続ける （p.218）	● 社会的な見方・考え方を働かせ，私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察，構想し，自分の考えを説明，論述する。 ● 私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとする。	○社会的な見方・考え方を働かせ，私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察，構想し，自分の考えを説明，論述している。（思判表） ○私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。（態度）